注　意

28．10．281800c
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊　日々報告
第１７４８号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1　本文（要約）
(1)　情　勢
(2)　本日の活動成果
(3)　明日の活動予定

2　別紙類（細部活動状況）
(1) 本日の成果
　　活動概要
(2) 明日の活動
　ア　活動に及ぼす影響
　　(ｱ)　情　勢
　　(ｲ)　基盤上（兵站・衛生・人事）
　　(ｳ)　総括（評価）
　イ　活動命令
　　(ｱ)　施設活動等実施に関する行動命令
　　（方針・指導要領・各部隊の任務）
　　(ｲ)　視察・来隊予定
　　(ｳ)　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

3　じ後の予定

4　情報共有事項

5　参考資料
(1)　気　象
(2)　暫定政府樹立までの主要結節
(3)　予想シナリオ（状況推移）と
　日本隊に及ぼす影響
(4)　部隊配置状況
(5)　タスク現況
(6)　警備の態勢

１　本文（要約）

１　情　勢

(1)　全　域

ア　和平合意関連

和平合意は、キール大統領が９月３０日に地域保護部隊に関する国連への協力を再度示したことや、国際社会から地域保護部隊の早期受け入れや武器禁輸に関する圧力が加わったため、今後進展があるものと思料されるが、政府内高官による相反する発言が確認されていることから、引き続き議論は長期化する可能性もあり注視が必要

一方、南スーダン国内外において両勢力の内部分裂又は離反・統合の動きが確認されるとともに、マシャル第１副大統領派がキール政権に対する抵抗を示すとともにジュバ帰還への意思を示したことから、ＳＰＬＡ－ｉＯ指導部の分裂、ＳＰＬＡに統合されていたＳＰＬＡ－ｉＯの一部離反、国内外へのマシャル氏の影響力の趨勢について注視が必要

北部のリーア及び南部においてＳＰＬＡとマシャル派ＳＰＬＡ－ｉＯとの緊張状態が継続し、予断を許さない状況が継続

イ　その他の情報資料

キール大統領は地域保護部隊の展開に前向きな姿勢を見せ始めているものの、市民団体が地域保護部隊の派遣に関して反対を表明しており、対ＵＮ感情の変化には注視が必要

また、北部及び南部において、ディンカ族内での反エクアトリアン感情が増大しており、キール大統領が抑制を呼び掛けているものの、その動向には注視が必要

加えて、南アフリカ政府も和平合意への関与を示していることから、今後の政府間の動向にも注視が必要（併せて、プロパガンダにも注意）

(2)　ジュバ市外

ジュバ郊外、特に、イェイ及びカジョケジでのＳＰＬＡとマシャル派ＳＰＬＡ－ｉＯとの緊張状態及びエクアトリアー帯での武装集団による襲撃事案が増加するとともに、ディンカ族とエクアトリアン等との緊張状態も生起しているとともに、郊外へ至る経路上での通行許可証等を要求するＳＯＦＡ違反が継続している。ジュバ南部への移動には、ＵＮＭＩＳＳによるパトロールによるプレゼンスの提示及びジュバ－ニムレ道沿いのウガンダ警察と、南スーダン警察との協力態勢の確立による治安の回復が期待されるものの、その状況に注視

凡例　赤字：変化事項

(3)　ジュバ市内

市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、夜間に治安機関が強盗、不審者等へ警告射撃等を実施しており、夜間は流れ弾が発生しやすい状態が継続

また、南スーダン政府は安保理決議の受入を原則的に表明しているものの、引き続きＳＯＦＡ違反の発生状況に注視

[redacted]では、常続的に射撃が確認されており、[redacted]逐次進展が見られるものの、ディンカ族とエクアトリアンの対立、[redacted]不安定な状態にあり引き続き些細な変化に注意が必要

また、ＩＤＰとＵＮＰＯＬ等との小競合いにおいて[redacted]ことから、ＩＤＰ内での対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化には注視が必要

加えて、キール大統領の死亡説やマロン参謀総長の解任説が流れる等、市民の不安が煽られるような噂が流れたこともあり、市民感情の変化には注意が必要（流布源は不明であるが、一時的に市内の一部が緊張状態になったことから、今後の政府の動向に注意）

(4)　ウガンダ

２０１６年２月の大統領選及び５月の野党党首の収監以降は、大規模な暴動等は首都カンパラにおいては確認されていないものの、７月中旬の野党党首の出所以降、野党党首支持者と警察との間で小規模な衝突が首都カンパラにおいても発生しており、集会等の実施場所周辺では注意が必要

また、治安はアフリカの中では比較的良いものの、強盗、窃盗等の一般犯罪の発生が確認されており、夜間の単独外出や昼間でもスラム等への立ち入りは危険を伴う

(5)　活動に及ぼす影響

宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾には注意が必要

また、ジュバ市内においてはハラスメント及びＳＰＬＡによる検問周辺での流れ弾、交通事故への巻き込まれには注意が必要

なお、ＵＮハウス周辺においては射撃及び銃を携行し徒歩で移動するＳＰＬＡ兵士が確認されていることから近傍での活動には警戒が必要

マラム採掘場周辺においては、治安事象は確認されていないものの、ＳＰＬＡによる検問が存在することからハラスメントの発生には注意が必要であるとともに牛飼いの動向にも注視が必要

３　本日の活動成果

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、マラム運搬、ＵＮハウス地区西側外壁構築、弾薬庫増設、ネパール歩兵大隊敷地整備及びＵＮトンピン地区退避壕構築、Ｌｖ．２クリニックプレハブ構築及びＭＯＶＣＯＮゲート整地を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、ＵＮハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮハウス地区内における給水活動（成果：９ｔ）

イ　人道支援実施のための環境作り等

(1)　ＵＮハウス地区西側外壁構築

第２施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における西側外壁構築

(2)　ＵＮハウス地区弾薬庫増設

第３施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における弾薬庫増設

(3)　ネパール歩兵大隊敷地整備

第２施設小隊をもって、ＵＮハウス地区におけるネパール歩兵大隊の敷地整備

(4)　Ｌｖ２クリニックプレハブ構築

第１施設小隊をもって、ＵＮトンピン地区内Ｌｖ２クリニックにおけるプレハブ構築

(5)　ＵＮトンピン地区退避壕構築

施設器材小隊をもって、ＵＮトンピン地区における退避壕構築

(6)　マラム運搬

施設器材小隊等をもって、ジュバ市内におけるマラム運搬

(7)　ＭＯＶＣＯＮゲート整地

第１施設小隊をもって、ＵＮトンピン地区内ＭＯＶＣＯＮにおけるゲートの整地

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

ａ　情報班をもって、ジュバ市内における情報収集活動

ｂ　隊本部をもって、ジュバ市内及び[redacted]における経路偵察

ｃ　隊本部をもって、ジュバ市内における高官来訪に伴う事前経路確認

(ｲ)　業務調整

隊本部等をもって、ＵＮトンピン地区、ＵＮハウス地区及びジュバ市内における業務調整

(ｳ)　宿営地内活動

本部付隊をもって、宿営地管理業務

(ｴ)　教育訓練等

な　し

(ｵ)　民生協力

な　し

エ　表敬等

な　し

オ　各種行事

な　し

カ　国際機関等連携案件

な　し

3　明日の活動予定

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

また、文化の日イベントを実施し、他国との信頼醸成を図る。併せて孤児院の慰問を実施し、南スーダンの将来を担う子供達の成長を支援して、南スーダンの平和と発展に寄与するとともに、日本国への信頼を醸成を図る。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区における給水活動

イ　人道支援実施のための環境作り等

な　し

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

ａ　情報班をもって、ＵＮトンピン地区における情報収集活動

ｂ　隊本部をもって、ジュバ市内における経路偵察

(ｲ)　業務調整

隊本部等をもって、ＵＮトンピン地区における業務調整

(ｳ)　宿営地内活動

本部付隊をもって、宿営地管理業務

(ｴ)　教育訓練等

な　し

(ｵ)　民生協力

な　し

(ｶ)　隊本部等による、ジュバ市内における孤児院慰問

(ｷ)　隊本部による、ＵＮトンピン地区における業者対応

(ｷ)　隊本部による、ジュバ市内における銀行業務

エ　表敬等

なし

オ　各種行事

なし

カ　国際機関等連携案件

なし

1　本日の成果

別紙第１「活動概要」
別紙第２「活動成果」

別紙第１－１

活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮトンピン地区退避壕構築	器材小隊	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	１７	小型×１、大型×１ 特大型×１、油圧×１ ロードローラ×１ バケット×１	
②		Ｌｖ．２クリニック プレハブ構築	１小隊	０８００～１６００	カンボジア ＬＶ．２病院	１３	高機×１、大型×３	
③		ＭＯＶＣＯＮゲート整地	１小隊	０８００～１６００	ＭＯＶＣＯＮゲート	６	ロードローラ×１、高機×１ ＧＲ×１、大型×１	
④	その他	給　水	補給班	０８００～１０００	トランジット エチオピア歩兵大隊	２	給水車×１	
⑤	その他	給　水	補給班	１０００～１２００	ＭＳＡ３	２	給水車×１	
⑥		業者対応	隊本部 （Ｓ－４）	０８３０～１６００	ウエストゲート	２	小型×１	
⑦		業務調整（施設）	隊本部 （Ｓ－３）	０８００～１６００	工兵課	３	小型×１	
⑧		業務調整（輸送）	隊本部 （Ｓ－４）	０９００～１６３０	ＭＯＶＣＯＮ	３	小型×１	
⑨		広報活動	隊本部 （広報）	０７４０～１６００	ＵＮトンピン内	２	小型×１	
⑩		燃料給油	警護班	１０００～１１００	ＵＮトンピン内			

別紙第１－２

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／７）



	広報活動
	燃料給油

別紙第１－３

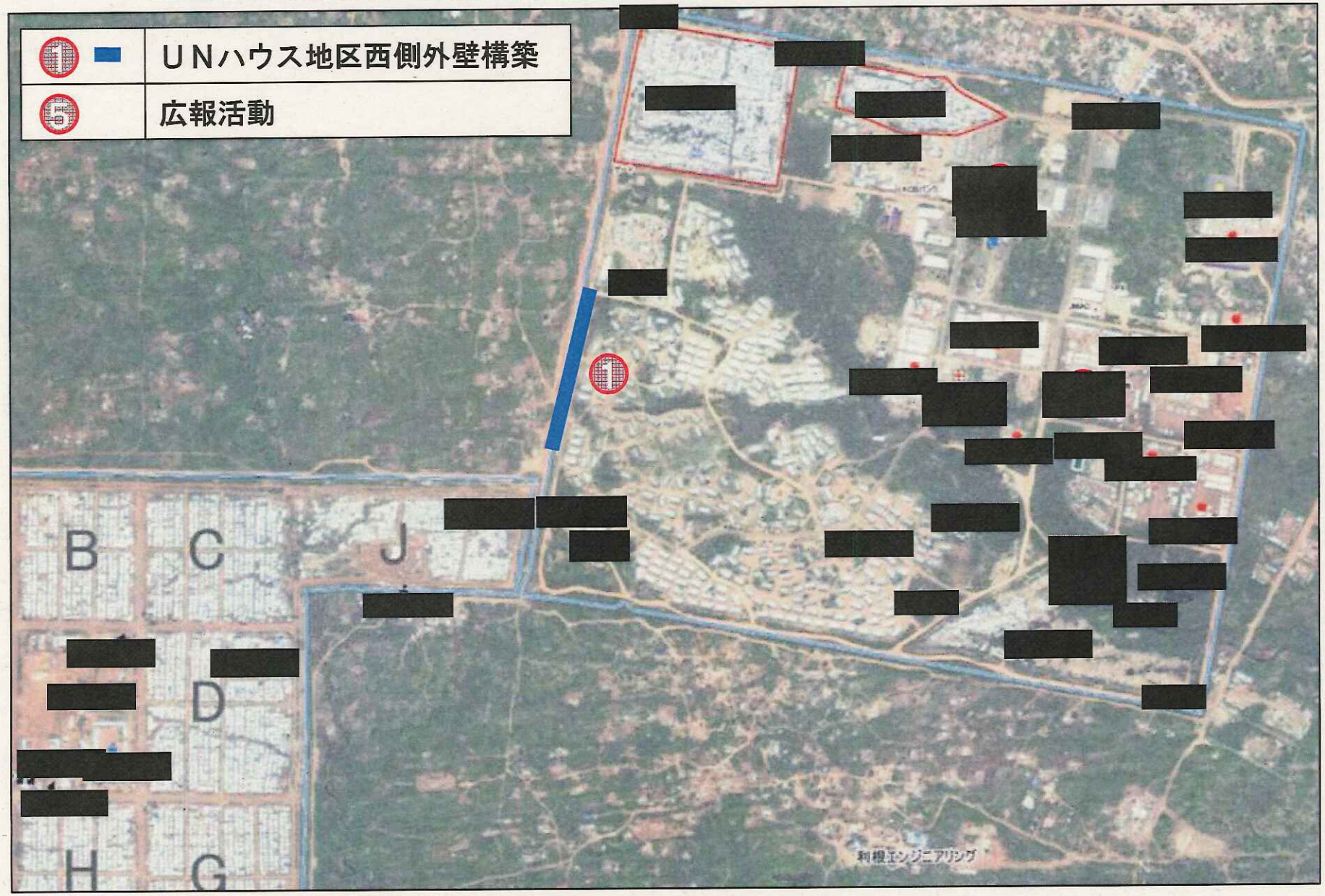
活動概要（ＵＮハウス）（３／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮハウス地区西側外壁構築	２小隊	０７３０～１６３０	ＵＮハウス西側	１６	高機×3、大型×2 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
②		ネパール歩兵大隊敷地整地			ネパール歩兵大隊	4		
③		ＵＮハウス地区弾薬庫増設	３小隊	０７３１～１６３０	弾薬庫	１８	高機×2、大型×2 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
④	その他	業務調整（施設）	隊本部（Ｓ－３）	０７４７～１４００	ＵＮハウス	３	高機×1	
⑤		広報活動	隊本部（広　報）	０７３０～１６３０	ＵＮハウス	３	高機×1	

凡例　UNタスク

別紙第１－４

活動概要（ＵＮハウス）（４／７）



活動概要（ジュバ市内）（５／７）

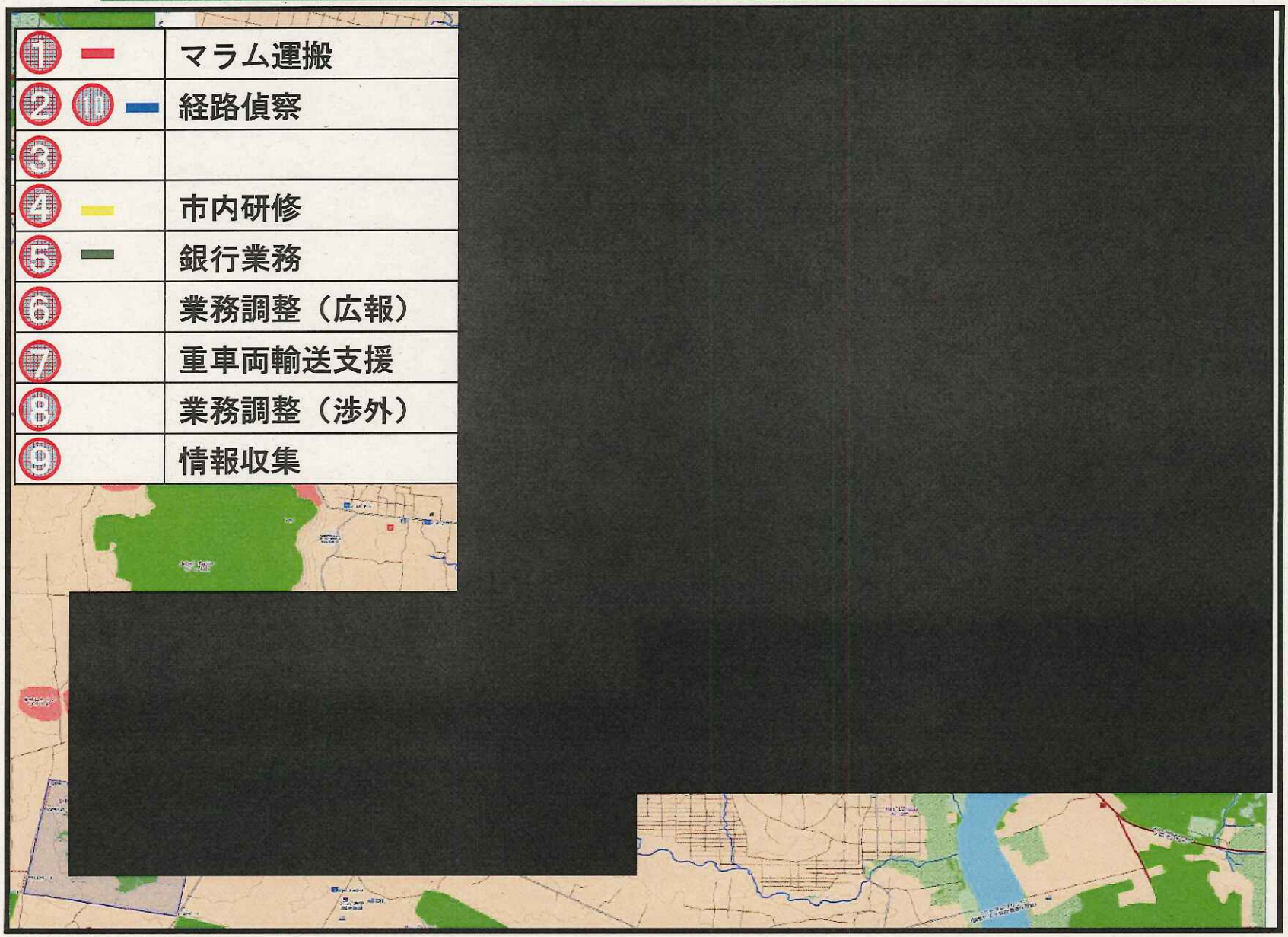
別紙第１－５

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施　設	マラム運搬	器材小隊 衛生班 整備班 広報班	０９００～ １３００	ルリ橋北側 マラム採取場	１４	特大型×3、高機×2	
②	情　報	経路偵察	隊本部 （Ｓ－２）		ジュバ市内			
③	その他	大使館調整	隊長 （Ｓ－３）	０７４０～ ０８５０	ジュバ市内 日本大使館	3	ランクル×1	
④		市内研修 （未実施）	隊本部 （Ｓ－１）	１２１０～ １５４０	ジュバ市内	7	ランクル×1	
⑤		銀行業務 （未実施）	隊本部 （Ｓ－４）	１３３０～ １６００	ジュバ市内	3	高機×1	
⑥		現地調整（広報）	隊本部 （広報）	１３３０～ １６３０	情報放送省 ジュバ空港	3	高機×1	
⑦		重車両輸送支援	警務班	０７２０～ １６３０	ジュバ市内	2	高機×1	
⑧		業務調整（渉外）	隊本部 （Ｓ－１）	０９００～ １６００	ユニバーサル	2	高機×1	
⑨		情報収集	情報班		ジュバ市内			
⑩		経路確認	隊本部 （Ｓ－３） 警備小隊 警護班		ジュバ市内			

凡例　UNタスク

別紙第１－６

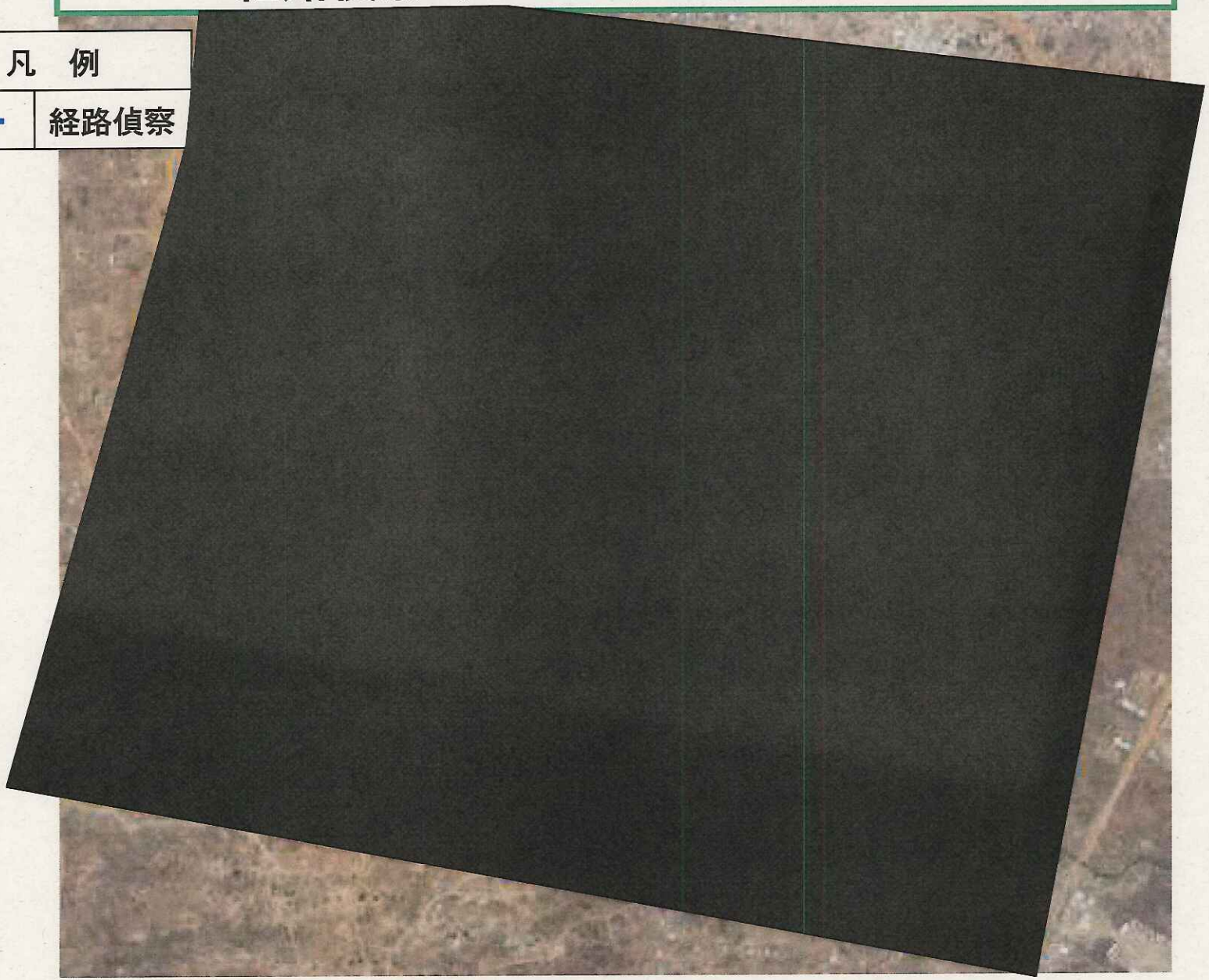
活動概要（ジュバ市内）（６／７）



別紙第１－７

経路偵察（ＵＮハウス）（７／７）

凡　例	
――	経路偵察



別紙第２－１

本日の活動成果

マラム運搬

活　動　中
施設器材小隊【10.28 1100現在】



活　動　中
施設器材小隊【10.28 1200現在】

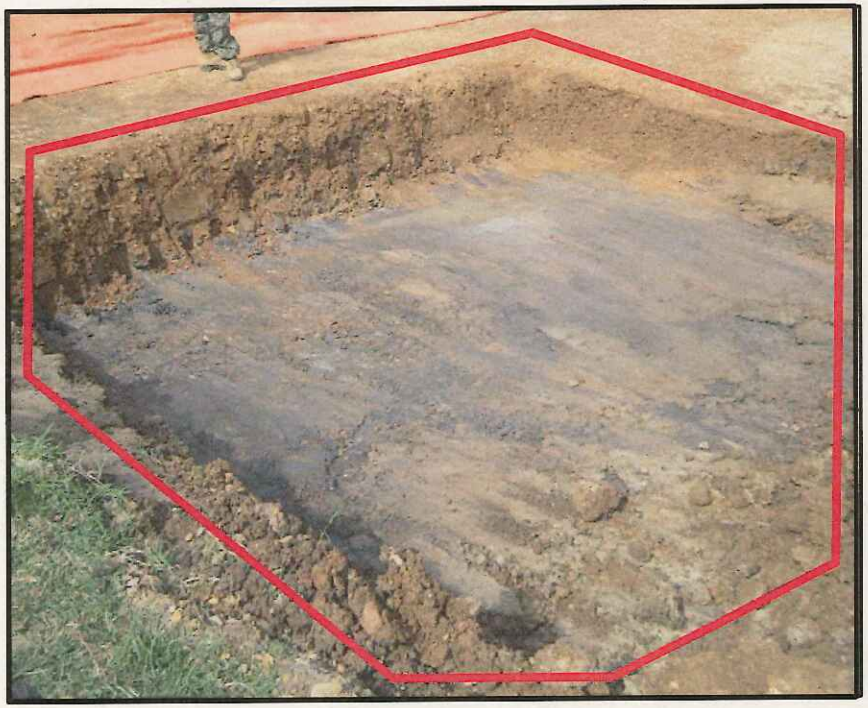


活　動　成　果	
日々 累計 [redacted]	マラムの運搬

本日の活動成果

UNトンピン内退避壕構築

活　動　中
施設器材小隊【10.28 0800現在】



活　動　中
施設器材小隊【10.28 1200現在】

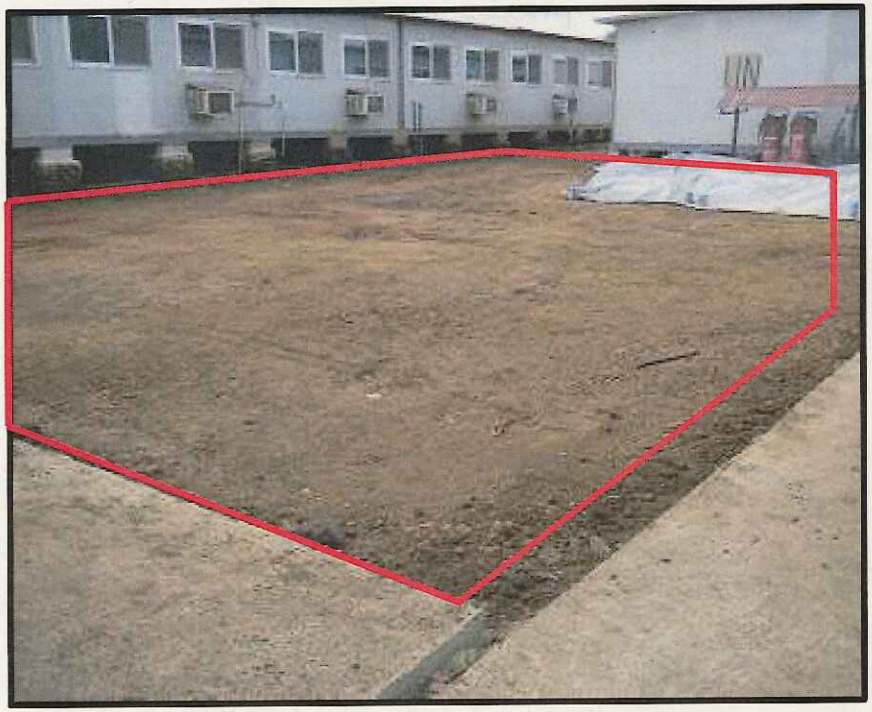


活　動　成　果	
進度累計 [redacted]	退避壕構築位置マラム敷設

本日の活動成果

Ｌｖ２クリニックプレハブ構築（３module）

活　動　前
第１施設小隊【10.28 0900現在】



活　動　中
第１施設小隊【10.28 1200現在】

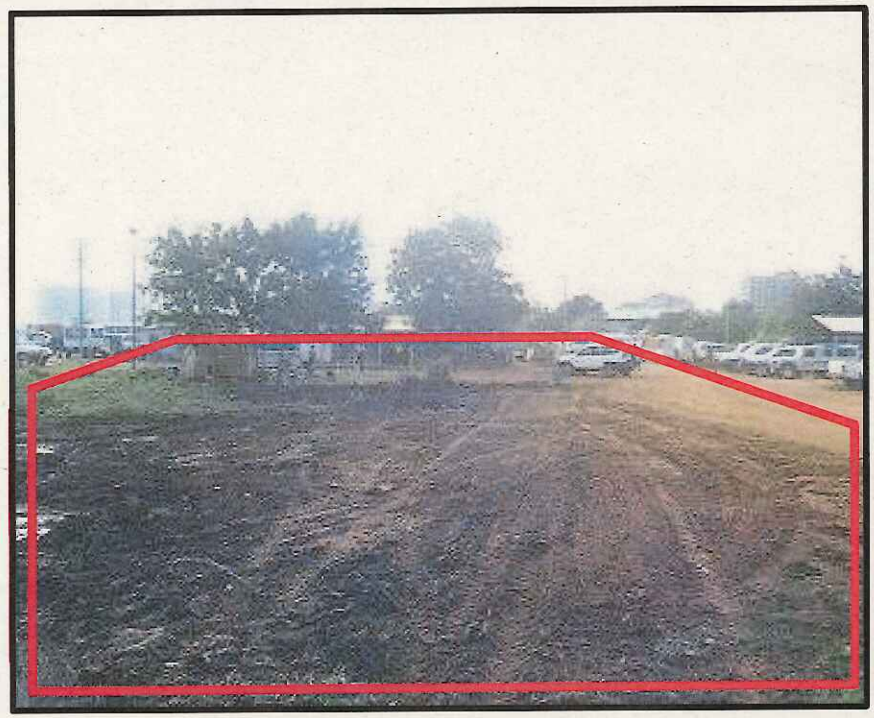


活　動　成　果	
進度 累計 [redacted]	1　測量・経始 2　基礎工

本日の活動成果

ＭＯＶＥＣＯＮゲート整地

活　動　前
第１施設小隊【10.28 0900現在】



活　動　後
第１施設小隊【10.28 1300現在】



活　動　成　果	
進度 累計 [redacted]	1　整地（土壌置換） 2　廃材の除去

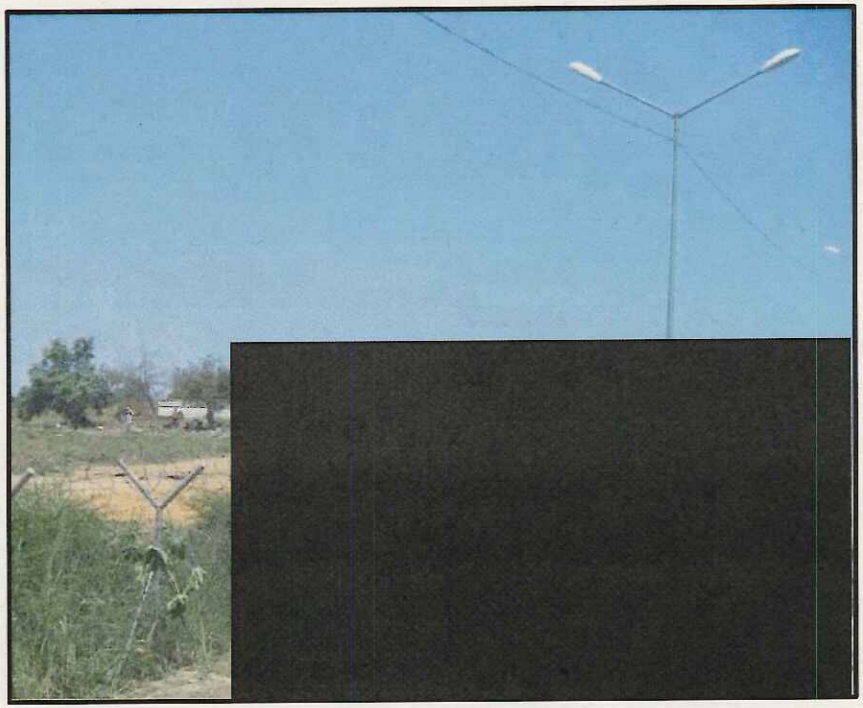
本日の活動成果

ＵＮハウス西側ケーブル埋設

活　動　前
第２施設小隊【10.28 0900現在】



活　動　後
第２施設小隊【10.28 1200現在】

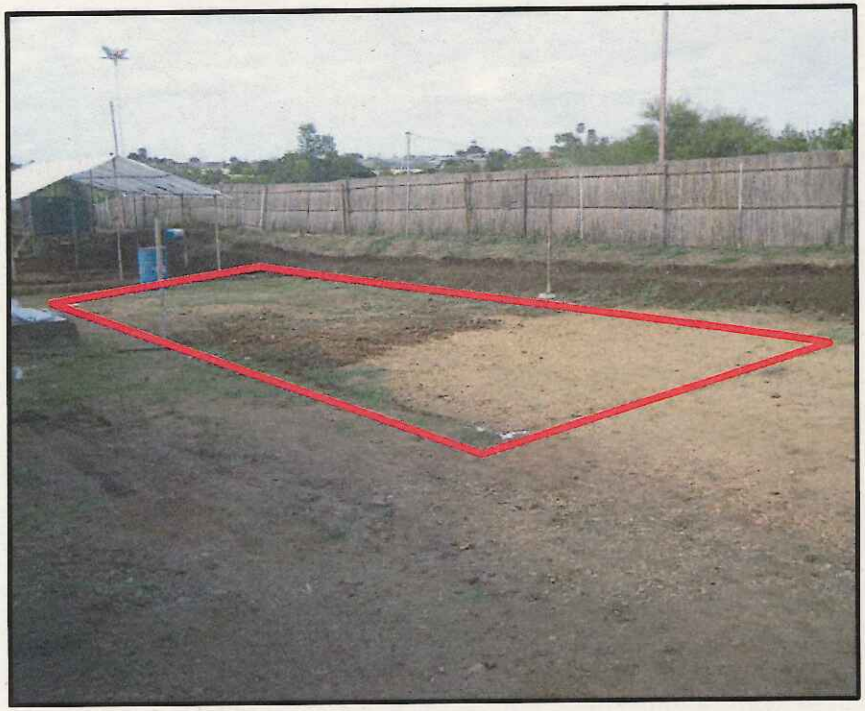


活　動　成　果	
進度 累計 [redacted]	・整地作業 ・ミフラム組立設置及び土入れ ・測量経始

本日の活動成果

ネパール歩兵大隊敷地整地

活　動　前
第２施設小隊【10.28 0900現在】



活　動　後
第２施設小隊【10.28 1300現在】

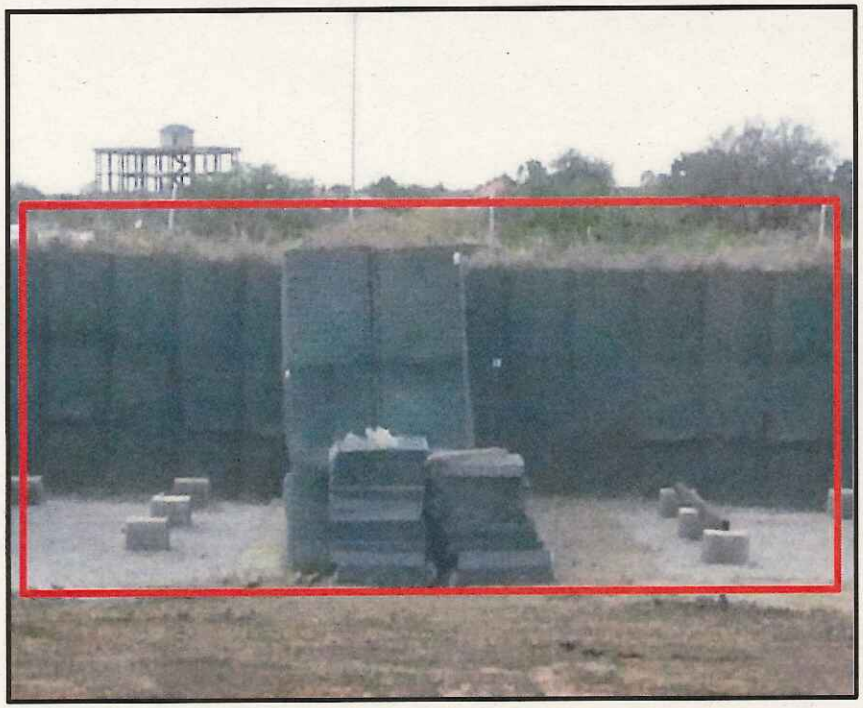


活　動　成　果	
実施：１００．０%／計画：１００．０%	・整地作業

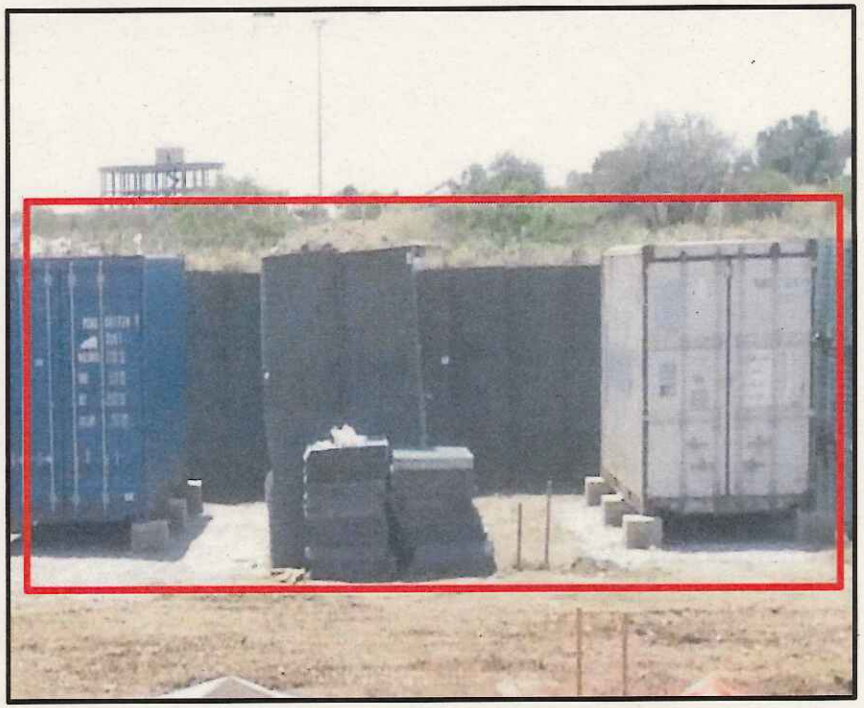
本日の活動成果

ＵＮハウス地区弾薬庫増設

活　動　前
第３施設小隊【10.28 0900現在】



活　動　後
第３施設小隊【10.28 1400現在】



活　動　成　果	
進捗 累計 [redacted]	・弾薬庫コンテナ設置

2　明日の活動

(1)　活動に及ぼす影響
別紙第３「情　勢」
別紙第４「装備品等現況」
別紙第５「患者受診状況」
別紙第６「人員現況」
別紙第７「総括（評価）」

(2)　活動命令
別紙第８「施設活動等実施に関する行動命令」
別紙第９「視察・来隊予定」
別紙第10「隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定」

情　勢（1／9）／Situation

1　南スーダン全域の情勢

(1)　和平合意履行に関する情報

■　２８日（時間不明）、ＡＵ議長のズマ氏がＡＵ安全保障会議（１０月３０日～１１月５日）出席の為、南スーダンに来訪する予定であり、クラウンホテル前及び主要交差点に警備配置が確認されている模様
（２８日 [redacted]）

→　引き続き、市内における警備強化に関する動向に注視

(2)　和平合意不履行に関する情報

[redacted]

（２７日 UpperNile DailyINTSUM）

→　引き続き、同地域における動向に注視

[redacted]

→　引き続き、同地域における動向に注視

情　勢（2／9）／Situation

別紙第３－２

凡例　青字：新規
赤字：評価

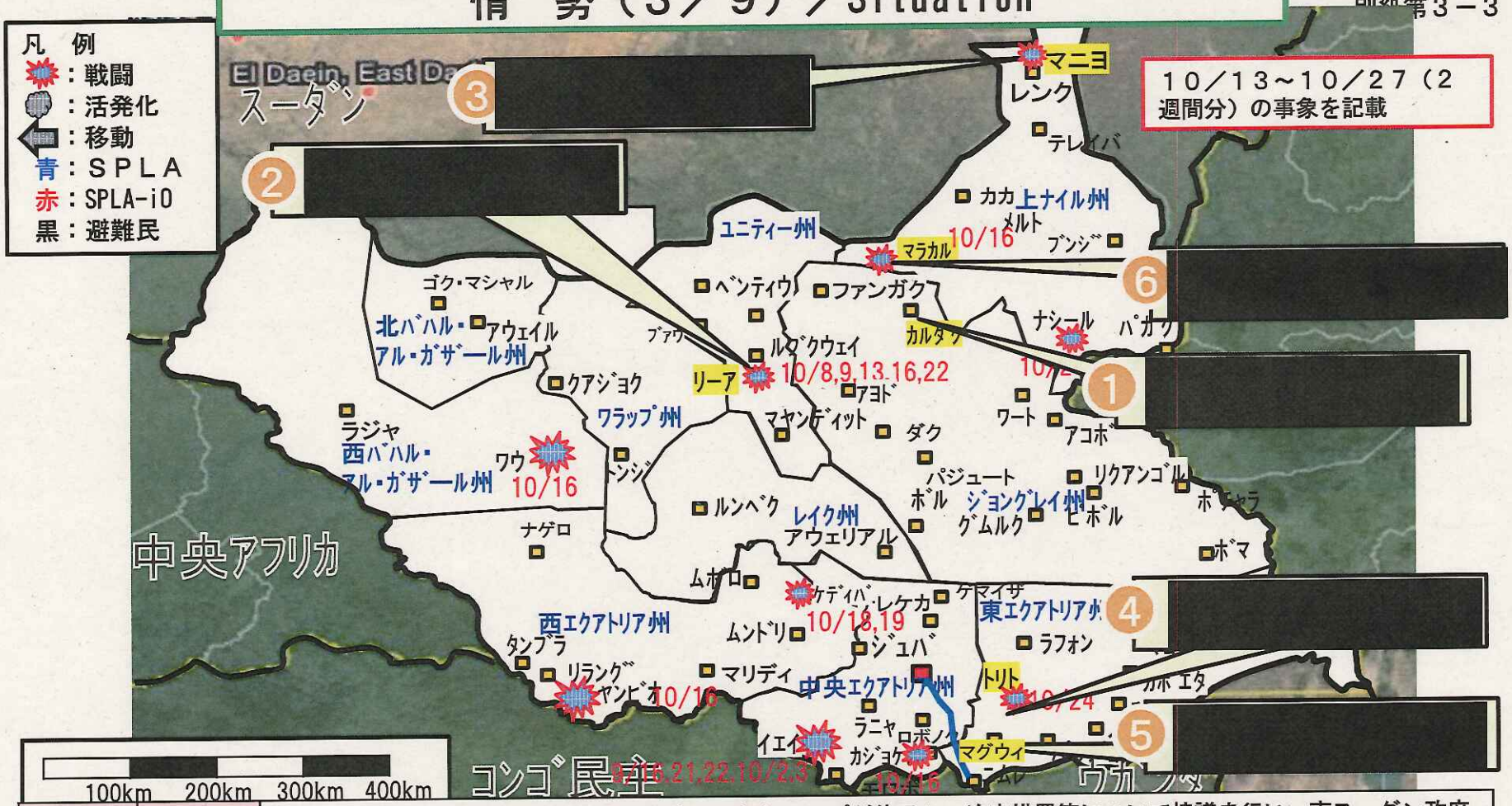
(3)　その他入手した主要な情報資料

[redacted]

→　引き続き、同地域における動向に注視

[redacted]

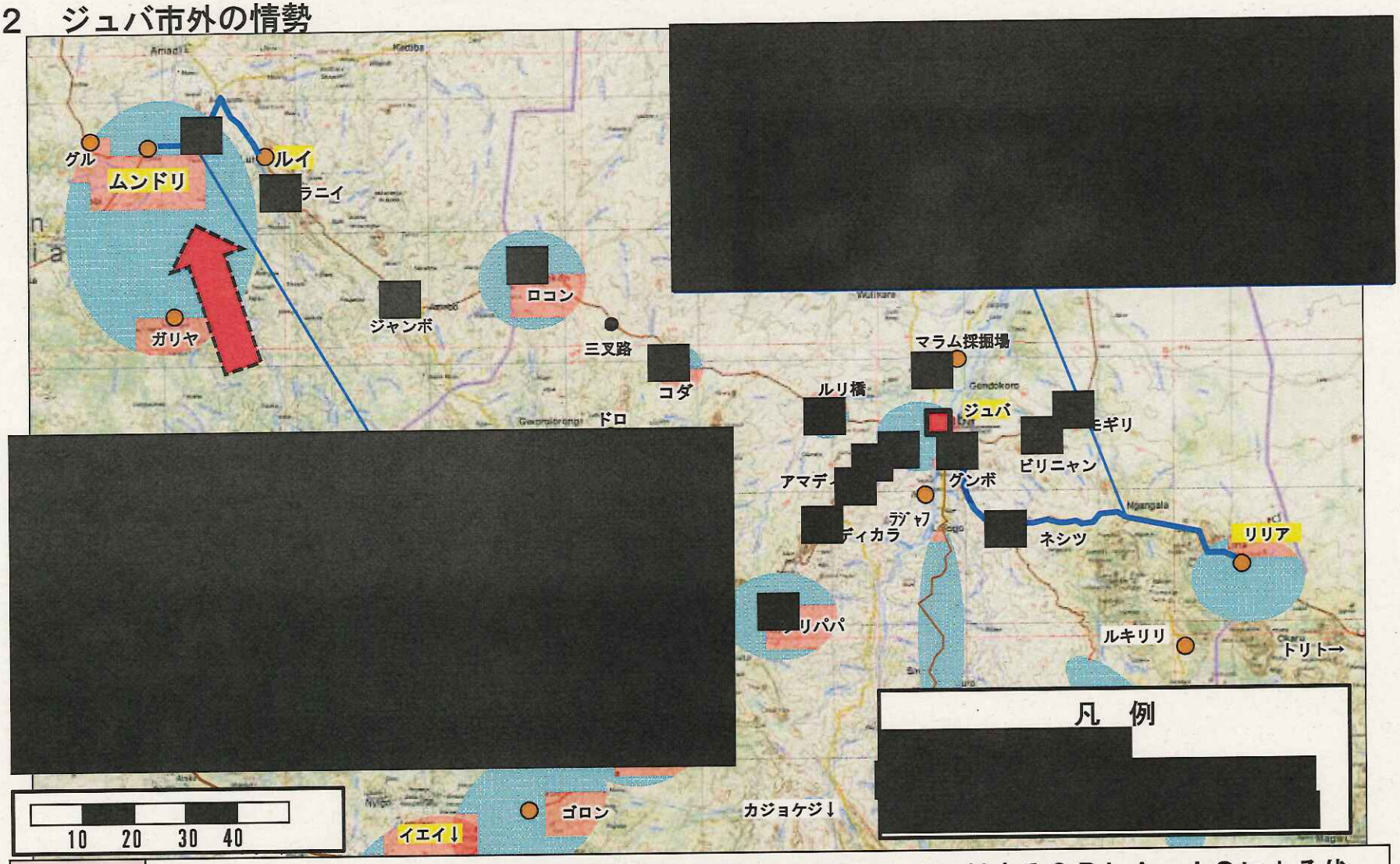
情　勢（３／９）／Situation



評　価	和平合意	和平合意については、ＪＭＥＣによるワークショップが終了し、治安措置等について協議を行い、南スーダン政府は安保理決議において指示された全ての要求に取り組むことに合意し、ＪＶＭＭも地域保護部隊の展開へ前向きな姿勢を示している事から、今後も逐次、協議が開催されるものと思料 北部及び南部において、ＳＰＬＡとマシャル派ＳＰＬＡ－ｉＯとの小規模な戦闘が継続しており、マシャル前第１副大統領のキール政権打倒のための武力抵抗の実施に関する発言に伴う、戦闘の拡大には注視が必要。また、南部では民間車両に対する襲撃が継続しており、ジュバ方向への物流に影響を及ぼす可能性があるため、注視が必要
	その他の事象	南部国境においては、難民が引き続き隣国へと流入するとともに、北部において国連による人道状況の調査も実施されていることから、文民保護に関するマンデートは今後も継続するものと思料。また、国連による１０月中旬に予定される追加措置を前に、地域保護部隊に関する南スーダン政府側の対応に変化があり、これに伴う対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化には注視が必要

情　勢（４／９）／Situation

２　ジュバ市外の情勢



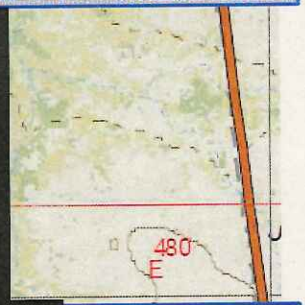
評　価	郊外における状況は未だ不透明であり、道路沿いでＳＰＬＡに対するＳＰＬＡ－ｉＯによる伏撃、エクアトリアン等に対する報復とみられる襲撃が発生している模様。乾季への移行に伴う、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

別紙第３－５

情　勢（５／９）／Situation

■　２８日０６５０頃、[redacted]ジュバ－マラム採掘場までの経路は異状なしとの情報
（２８日　派遣施設隊）

■　２８日１０２０頃、＃２検問において、マラム採掘場へ前進中のバングラ工兵中隊及び派遣施設隊の車両梯隊が停車させられ、武器等を点検された。
その後、前進時における検問所のＳＰＬＡは手振り反応は良好であり、攻撃的な態度は確認できなかった
（２８日　派遣施設隊）



■　２８日１０５０頃、[redacted]エチオピア大統領の南スーダン来訪に伴い※、ＳＰＬＡの警備態勢が普段よりも上がっているとの情報有り
※　２６日のノルウェー外務大臣来訪時には、警備強化の兆候なし
（２８日　派遣施設隊）
→　今後も大統領級の高官来訪時はジュバ郊外へ至る経路上の検問の警備は強化されるものと思料



評　価	治安上の脅威は存在しないものの、ジュバにおける大統領級の高官来訪時にはジュバ郊外への移動及びジュバ内への移動する車両に対する検問は強化される傾向にあり、ＳＯＦＡ違反が発生する可能性が高いものと思料

情　勢（６／９）／Situation

３－１　ジュバ市内の状況１

[redacted]

■　２６日夕方（時間不明）、大統領府南側のハイ・ソラ地区のバーに警官の服装をした男性があらわれ銃を乱射した模様
　犯人は逃走中であり、一時大統領府近傍では兵士が展開（規模不明）したことにより大統領府方向へ向かう車両は停止させられていた模様
（２７日　Radio Tamazuj” Juba Crime Report”）

[redacted]

[redacted]



評　価	ジュバ市内は、日中は一定の安定を取り戻しているものの、各種離反に関する報道、イェイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[redacted]では、常続的な射撃や、[redacted]が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスメント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要。また、ＩＤＰの対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化にも注視が必要

情　勢（７／９）／Situation

３－２　ジュバ市内の状況２

[redacted]

■　２８日０９３５頃、空港高官ゲートからＤ交差点にかけて、赤ベレーのＳＰＬＡ兵士を５０ｍ間隔に配置し、同経路上の交通規制を実施
　０９４５頃、キール大統領と会見を実施するための、エチオピア大統領のものと思われる車列の通過を確認
　なお、高官対応に伴う警備強化は本日で終了する模様
（２８日[redacted]、[redacted]）

→　引き続き、動向に注視

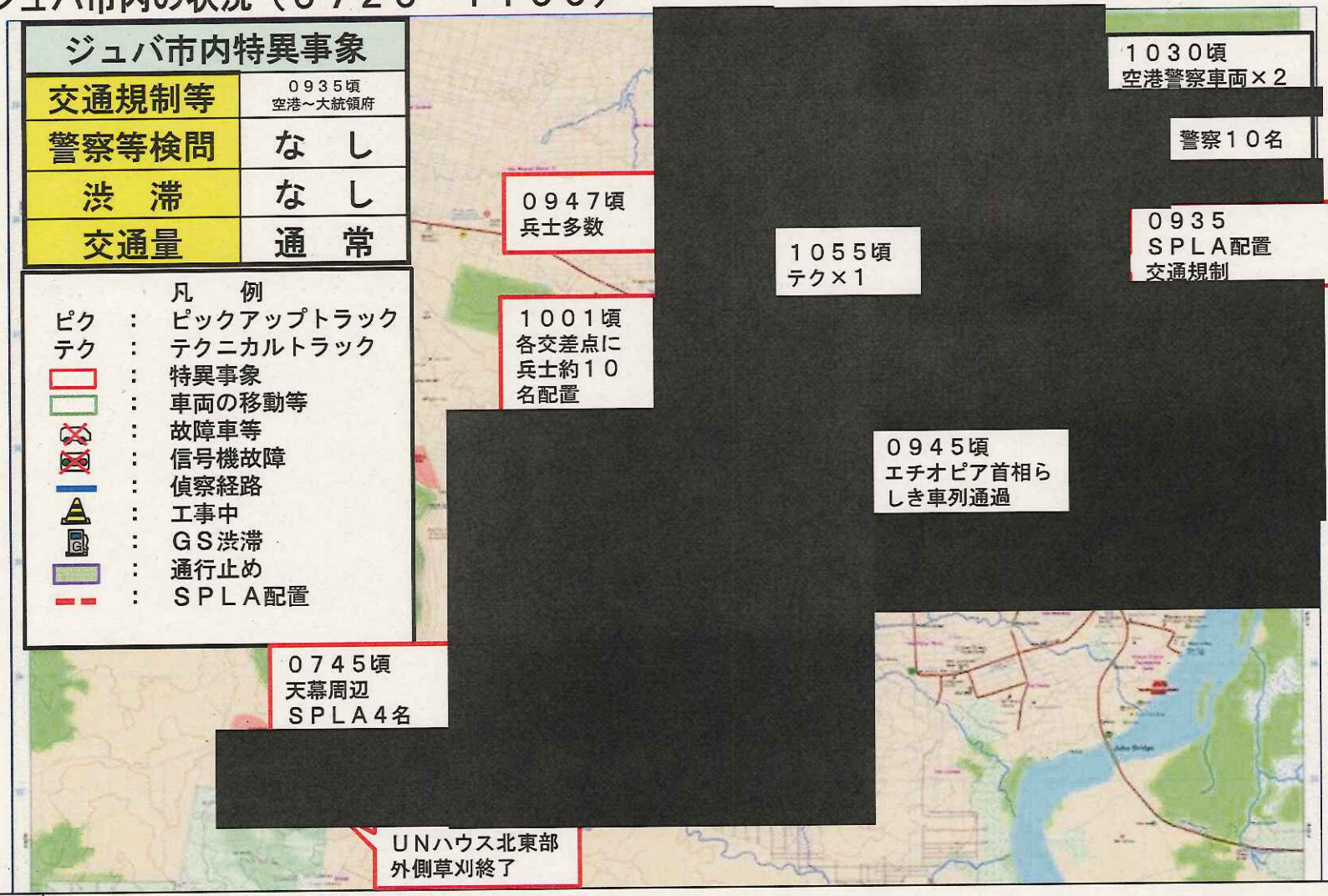
[redacted]



評　価	ジュバ市内は、日中は一定の安定を取り戻しているものの、各種離反に関する報道、イェイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[redacted]では、常続的な射撃や、[redacted]が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスメント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要。また、ＩＤＰの対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化にも注視が必要

情　勢（８／９）／Situation

４　ジュバ市内の状況（０７２０～１１００）



評　価	エチオピア首相の来訪に伴い全体的な警備強化が見られた。 交通量はやや多いものの、市民の移動は通常通りであり、車両運行には引き続き注意が必要

情　勢（9／9）／Situation

5　気　象（0600i）

地　域	天　気	気　温		湿　度		降水量	備　考
		最　低	最　高	最　低	最　高		
ジュバ	快晴	２３℃	４８℃	３２％	６８％	０mm	
カンパラ	晴れ一時雨	１６℃	３０℃	５３％	９７％	６mm	

主要装備品等現況／Equipment Status

別紙第４－１

１０月２８日１８００ｃ

区　分	可　動　率	状　況	処　置
火　器	１００％ [redacted]	な　し	
車　両	１００％ [redacted]	な　し	
施　設	１００％ [redacted]	な　し	
通　信	１００％ [redacted]	な　し	
需　品	１００％ [redacted]	な　し	
衛　生	１００％ [redacted]	な　し	
その他		１５０ＫＶＡ発電機×２ （逆浸透浄水装置用） オルタネータ不良	部品請求実施 [redacted] 整備完了まで予備の２２０ＫＶＡ発電機×１を使用

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

別紙第４－２

１０月２８日１８００ｃ

区分		品名	総数	取得	返納	保管
弾薬	ＢＬ	９mm普通弾	[redacted]			
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	ＴＲ	９mm普通弾				
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	計					
打ち殻		９mm打がら薬きょう				
		５．５６mm打がら薬きょう				
計						

別紙第４－３

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

糧食維持日数 [redacted]

喫食者数：３１８名（国連休暇－３３、ウガンダ出張－２）　１０月２８日１８００ｃ

区　分	品　名		取　得	消　費	現保有量	維持日数	備考（処置）
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型	[redacted]				
		市販型					
		アルファ米					
		ＵＮ非常用糧食					
	耐久品	米					
		副食パック					
	ＵＮ食材	生　鮮					
		冷凍・耐久					
	現地調達	生　鮮					
		冷　凍					
	その他	加熱剤					
燃　料	ＣＯＥ	ＵＮ軽油（発電機）					
	ＮＯＥ	軽油（調達品）					
		灯油（調達品）					
		ガソリン（調達品）					
水	飲料水						
	海水淡水化装置（浄水）						

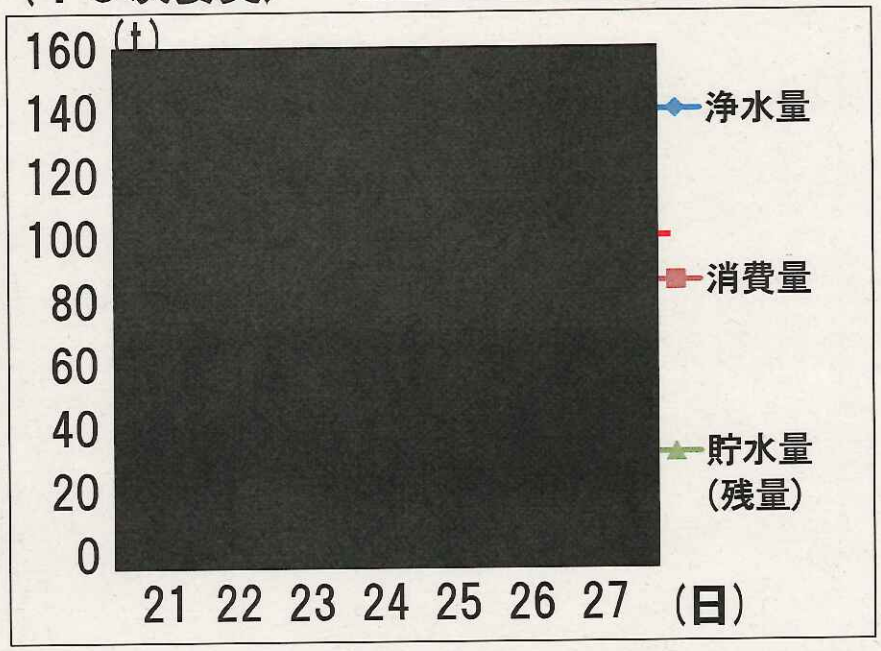
第１０種補給品（水）の推移（１週間実績）

別紙第４－４

１０月２８日１８００ｃ

【H28.10】（１０次要員）

曜	日	浄水量	消費量	貯水量（残量）
金	２１	[redacted]		
土	２２			
日	２３			
月	２４			
火	２５			
水	２６			
木	２７			



他国供給先（前日実績）	供給量
ＵＮハウス	5
トランジット	4
ネパールＦＰＵ	
ネパール歩兵中隊	3
エチオピア大隊	
バングラ河川隊	
インド隊	5
合　計	１７

【評　価】

○第4井戸の故障復旧後、取水量は安定傾向を保っている。
　再度、砂の埋没により故障となる可能性があるため、第5井戸の早期着手により対応

○第5井戸の工事期間：10月20日から11月上旬
→井戸内のパイプ接続及び孔内洗浄終了（10月26日1500c）

※　貯水の危険水位：[redacted]

（注）日々の消費量が[redacted]を超える日が[redacted]日連続で続いた場合、貯水量が減少する。井戸の故障状況によっては数日で危険水位を下回る可能性もある。その場合はシャワーや浴槽、洗濯の使用を制限する。

別紙第５

患者受診状況

受診患者計　４名

１０月　２７日１４００ｃ
～１０月　２８日１４００ｃ

所属等／Section	傷病者数	疾患名／Disease	備考
本部付隊	１名	[redacted]	
第１施設小隊	１名		
警備小隊	２名		

凡例：　（再）　→　再　診

人員現況／Personnel Status

	場　所	総員（名）	事故（名）	現在員（名）	事故の内訳（名）	備　考
第10次要員	ジュバ（UNトンピン）	３５３	３５	３１８	○国連休暇　３３名（10/27～11/1） ○ウガンダ出張２名（10/25～10/30）	

宿営地待機人員

区　分	人員数
待機人員	[redacted]

凡例　赤字：強調　青字：不在者

活動の分析及び評価

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	宿営地	流れ弾	9/27, 28, 10/4, 6, 9, 10, 11, 16, 17, 20 近傍での射撃（特に夜間）	
	UNトンピン	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ） 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対	
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし	
		疾病罹患・遺棄物での怪我	9/28 IDPの移送完了されるも天幕等残置	
	UNハウス	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対	
		ＩＤＰの流入又は侵入	[redacted]	
		流れ弾	[redacted]	
			10/4 WFZ（Weapon Free Zone：非武装地域）の予行の実施	
	＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）への巻き込まれ	[redacted]	
	＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ	7/27 食糧と女性の権利要求デモ	
		ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）	[redacted]	
			9/17 SPLAのPOCサイトへの侵入	
			[redacted]	
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置	

活動の分析及び評価

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/12 UNMISSの移動の自由の保証（大統領報道官） 10/12 タバン第１副大統領の帰国（米国） 10/12 大統領の顕在誇示による市民の不安の払拭 10/19 JMEC全体会議の開催 10/28 ｴﾁｵﾋﾟｱ首相来南ｽ来訪 10/28-11/5 AU安全保障会議開催	
		反ＵＮデモ	8/22 地域保護部隊に関する一定の譲歩、米からの資金援助 8/30 高官ｹﾞｰﾄでUN介入反対の横断幕 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/27 制裁専門家ﾊﾟﾈﾙ報告 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対	
		流れ弾	9/22,10/26 ｼﾞｭﾊﾞ市内における射撃（夕方以降）	

活動の分析及び評価

別紙第７－３

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	戦闘への巻き込まれ	10/13 SPLAの検問所は　　存在	[redacted]
		ハラスメント	[redacted]	
		犯罪への巻き込まれ	10/13, 17 エクアトリアンを標的とした犯罪 10/18 ディンカ族への襲撃に対する報復を抑制する大統領指示 [redacted] 10/24 ジュバ－ニムレ道沿いのウガンダとの協力態勢の確立	
	ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	戦闘への巻き込まれ	10/13 SPLAの検問所は　　存在 10/14 コダでのSPLAとSPLA-IOの衝突	
		ハラスメント	[redacted]	
		犯罪への巻き込まれ	－	
	ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	戦闘への巻き込まれ	10/17 SPLAの検問所は　　存在 10/26, 27 マラム採掘場の情勢は平穏 10/26, 27 SPLA車両の往来は、ほぼない	
		ハラスメント	[redacted] 10/26, 27 検問を異状なく実施 [redacted]	
		犯罪への巻き込まれ	10/26 約100名程度の住民が居住し、牛数百頭が放牧 10/27 部族間の感情は良好	

活動の分析及び評価

別紙第７－４

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	流れ弾	[redacted]	
ＵＮトンピン活動	反ＵＮデモ		
	流れ弾		
	疾病罹患・遺棄物での怪我		
ＵＮハウス活動	反ＵＮデモ		
	ＩＤＰの流入		
	流れ弾		
＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合いへの巻き込まれ		
＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ		
	ＩＤＰとの小競り合い ＩＤＰ内の小競合いへの巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

別紙第７－５

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の活動及び通行	ハラスメント及び巻き込まれ	[redacted]	
	反ＵＮデモ		
	流れ弾		

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	戦闘への巻き込まれ	[redacted]	[redacted]
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		

総　括

総　括	ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、マシャル氏がキール政権に対する抵抗を宣言したことから、ジュバ西部及び南部の戦闘には注視が必要。また、郊外の主要道路沿いでディンカ族や移動中のＳＰＬＡを狙った襲撃、その報復と見られるエクアトリアン等に対する襲撃が発生しており事態の拡大には注視が必要。加えて、コダ方面では、１０月１４日にＳＰＬＡとマシャル派ＳＰＬＡ－ｉＯの衝突が生起していた模様であり、ＵＮＭＩＳＳ車両が衝突後、問題なく通行しているものの、１０月２１日また２３日には政府関係車両に対する襲撃も発生していることから、道路沿いのＳＰＬＡ車両に対する伏撃等への巻き込まれには注意が必要 [redacted]では、常続的かつ単発的な射撃の発生、銃を携行したＳＰＬＡ兵士及び＃３ＰＯＣサイトでのマシャル派ＳＰＬＡ－ｉＯの活動が確認されており、巻き込まれ及び流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い。加えて、ＩＤＰとのＵＮＰＯＬ等との間で小競合いが発生しており、ＩＤＰの対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化には注視が必要 ジュバ市内においては、昼間は一定の治安の回復が見られるものの、夕方以降（暗くなる時間帯）は銃犯罪を含む犯罪が確認されており、不安定な状態が継続しており、流れ弾には注意が必要 加えて、大統領級の高官来訪時には市内及び郊外へ至る経路の警備が強化される模様であり、高官来訪時にはＳＯＦＡ違反には注意が必要 また、キール大統領が地域保護部隊の早期展開に協力的な姿勢を見せ始めたものの、市民団体が反発を示すとともに、政府報道官が近隣国からの派遣を拒否する姿勢を示しており、対ＵＮ感情の変化には注視が必要 ＵＮトンピン内においては、ＩＤＰの遺棄した不審物、疾病への罹患に引き続き注意が必要

総　括

別紙第７－８

評　価 （総括）	・　宿営地内及びＵＮトンピン内活動は、ＩＤＰ移動完了に伴う道路整備等において、遺棄物等による怪我、疾病罹患に対する防護が必要 ・　ジュバ市内の移動・活動は、空港・検問によるハラスメントの可能性があるものの、それ以外の地域におけるハラスメントの可能性は低く、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察、事前のＭＬＯ等との調整により、市内状況、通行許可状況を確認し、移動時間、移動経路・予備経路の指定など処置が必要 ・　ＵＮハウスにおける活動は、ＵＮハウス西側・南側における射撃事案、流れ弾及びＩＤＰによる投石の可能性があり、処置事項を実施することで活動可能であるが、ＵＮハウス西側における活動は、最近の射撃事案発生個所に比較的近傍であるため、車両による防護準備が必要 　また、ジュバ西部及び南部の戦闘の状況及びＵＮハウス地区近傍における発砲状況によっては、前進時期、活動中止、宿営地への撤収等の統制が必要

処置・対策	ＩＤＰとの小競合い	[redacted]
	疾病罹患	
	流れ弾対処	
	ＩＤＰデモ対処	
	ＳＰＬＡ等による ハラスメント	
	戦闘への巻き込まれ	

明日の活動命令
(Operations)

１　施設活動等実施に関する活動命令

（方針・指導要領）　(Policy &　Guidance)

２　視察・来隊予定　　(Schedules of visitors)

３　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

(CO/DCO/CSM Schedules)

別紙第８－１

１０月２９日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

１　情勢報告参照

２(1)　隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。
　また、文化の日イベントを実施し、他国との信頼醸成を図る。併せて孤児院の慰問を実施し、南スーダンの将来を担う子供達の成長を支援して、南スーダンの平和と発展に寄与するとともに、日本国への信頼を醸成を図る。

(2)ア　活動警備レベル（基準）

(ｱ)　ＵＮトンピン地区　　レベル[redacted]

(ｲ)　ジュバ空港　レベル[redacted]

(ｳ)　ジュバ市内

ａ　ｚｏｎｅ３　（ハイムオジフィン）レベル[redacted]
ｃ　ｚｏｎｅ４　（ジュバタウン）　　レベル[redacted]
ｄ　ｚｏｎｅ５　（ハイシネマ）　　レベル[redacted]
ｅ　ｚｏｎｅ６　（ハイカトウエスト）レベル[redacted]

イ　宿営地警備　[redacted]

３(1)　共　通
孤児院の慰問及び各種整備
(2)　ＥｑＰｔ（施設器材小隊）
状況により臨時工兵課タスクの実施
(3)　ＳｅｃＰｔ（警備小隊）
宿営地警備、同行警備及び[redacted]
(4)　ＨＱＵ（本部付隊）
宿営地維持・管理活動、ＵＮトンピン地区内給水活動及び[redacted]
(5)　ＭＩＳｅｃ（情報班）
ＵＮトンピン地区における情報収集
(6)　ＧｕａｒｄＳｅｃ（警護班）
副隊長警護
(7)　ＭＰＳｅｃ（警務班）
[redacted]

別紙第８－３

活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／５）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	その他	給　水	補給班	０８００～１０００	トランジット	2	給水車×１	
②	その他	給　水	補給班	１０００～１２００	インド歩兵大隊	2	給水車×１	
③		業者対応	隊本部（Ｓ－４）	０８３０～１６００	ウエストゲート	2	小型×１	
④		業務調整（輸送）	隊本部（Ｓ－４）	０９００～１６３０	MOVCON	3	小型×１	
⑤		広報活動	隊本部（広報）	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	2	小型×１	
⑥	情報	情報収集	情報班		ＵＮトンピン内			

別紙第８－４

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／５）



広	広報活動
情	情報収集
臨	臨時タスク

活動概要（ＵＮハウス地区）（３／５）

ＵＮハウス活動部隊なし

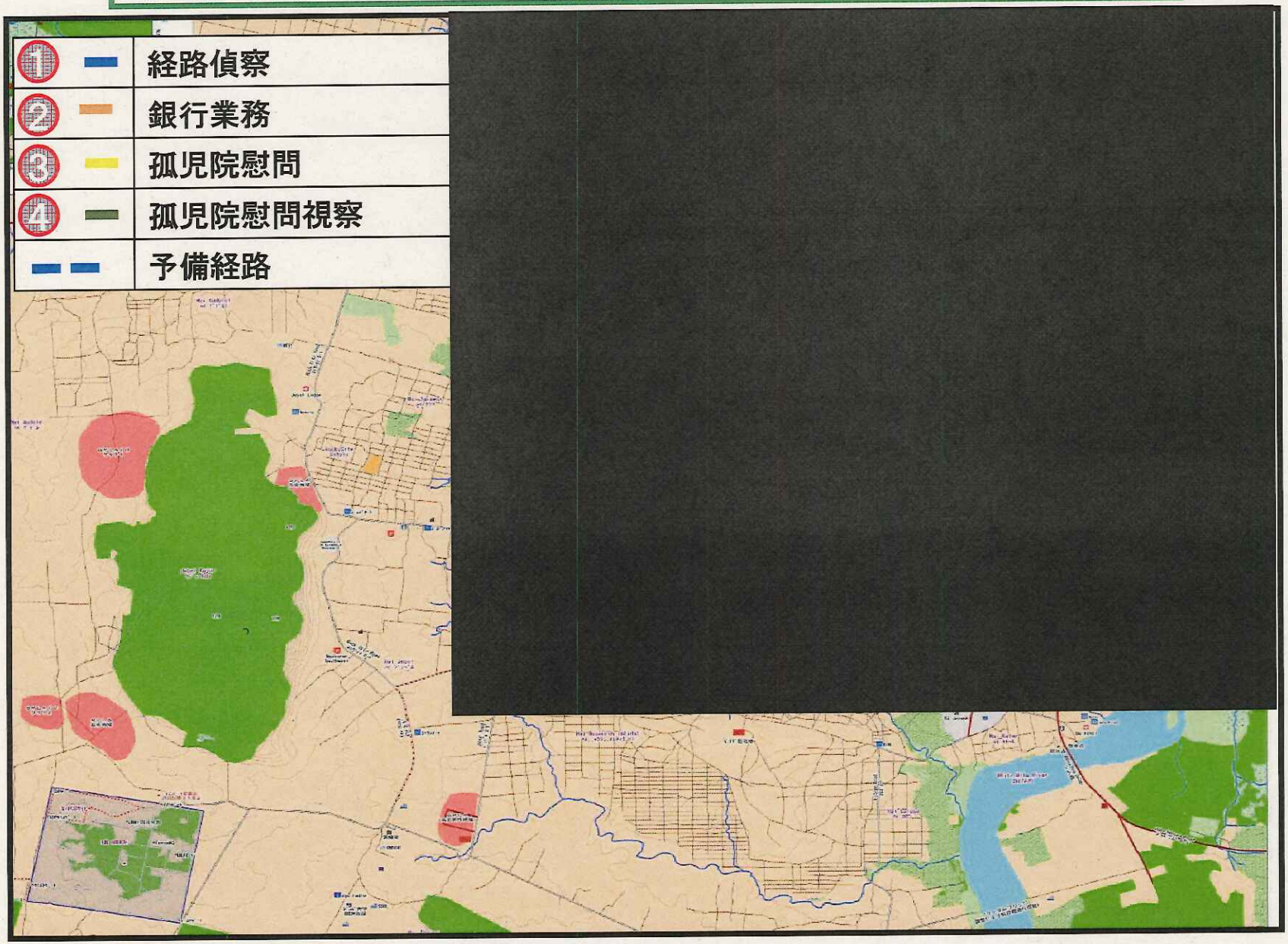
別紙第８－６

活動概要（ジュバ市内）　（４／５）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情　報	経路偵察	隊本部 （Ｓ－２）		ジュバ市内			
②	その他	銀行業務	隊本部 （Ｓ－４）	１３３０～ １６００	ジュバ市内	３	高機×１	
③		孤児院慰問	隊本部 （Ｓ－１） 各隊 広報	０９００～ １４００	ＨＯＨ孤児院 ジュバ市内	１９	ランクル×１ 高機×２	
④		孤児院慰問視察	副隊長 隊本部 （Ｓ－３）	０９３０～ １４００	ＨＯＨ孤児院	５	ランクル×１	

別紙第８－７

活動概要（ジュバ市内）（５／５）



別紙第９

視察・来隊予定
(Schedules of visitors)

時　間	視察・来隊者	備　考
	視察・来隊者等予定なし	

隊長、副隊長の行動予定

別紙第１０－１

	AM	PM	課業外
隊　長	[redacted]		
副隊長			

最先任上級曹長の行動予定

別紙第１０－２

	AM	PM	課業外
最先任上級曹長	[redacted]		

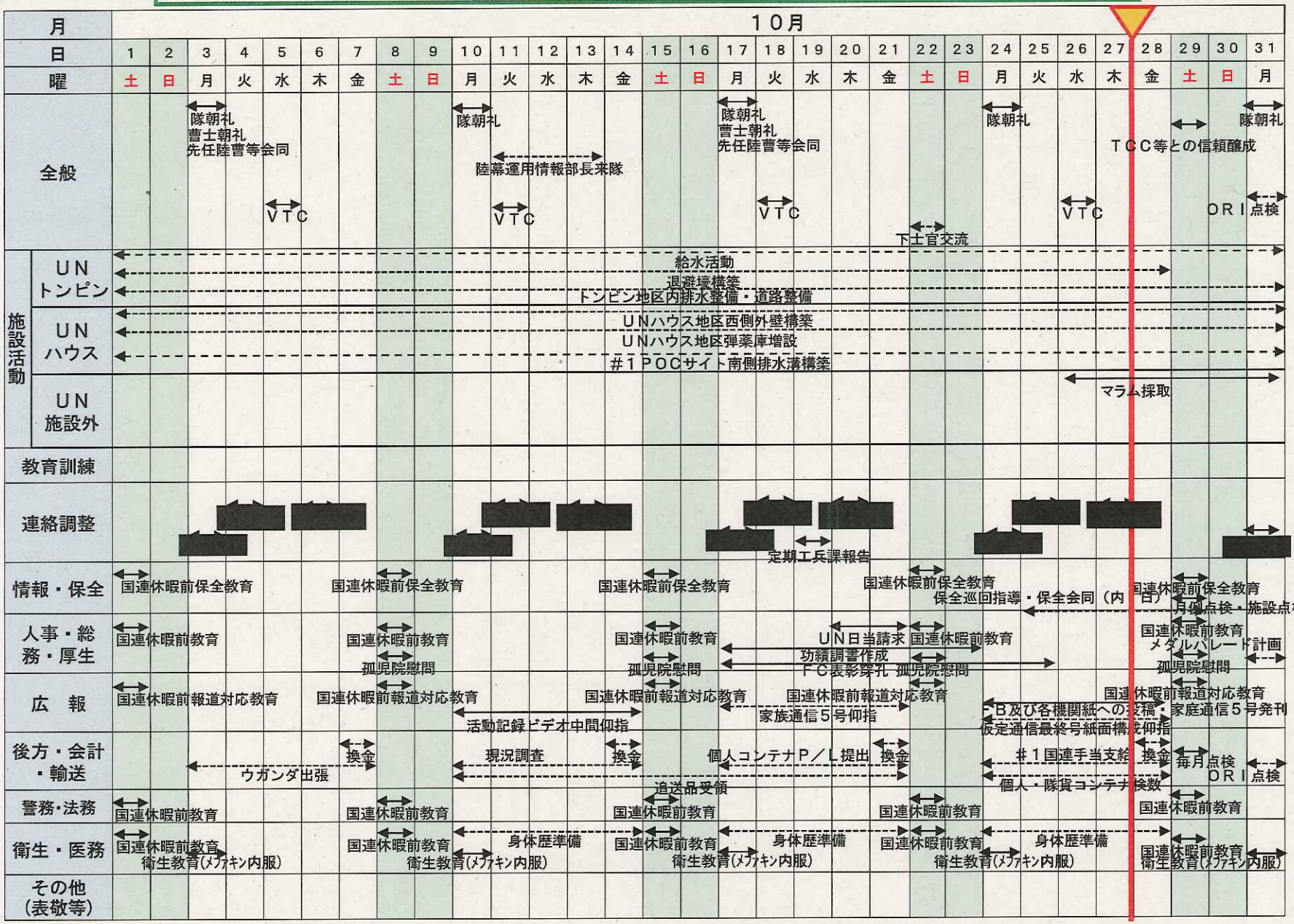
３　じ後の予定

別紙第１１「全般活動予定」

赤字：変化事項

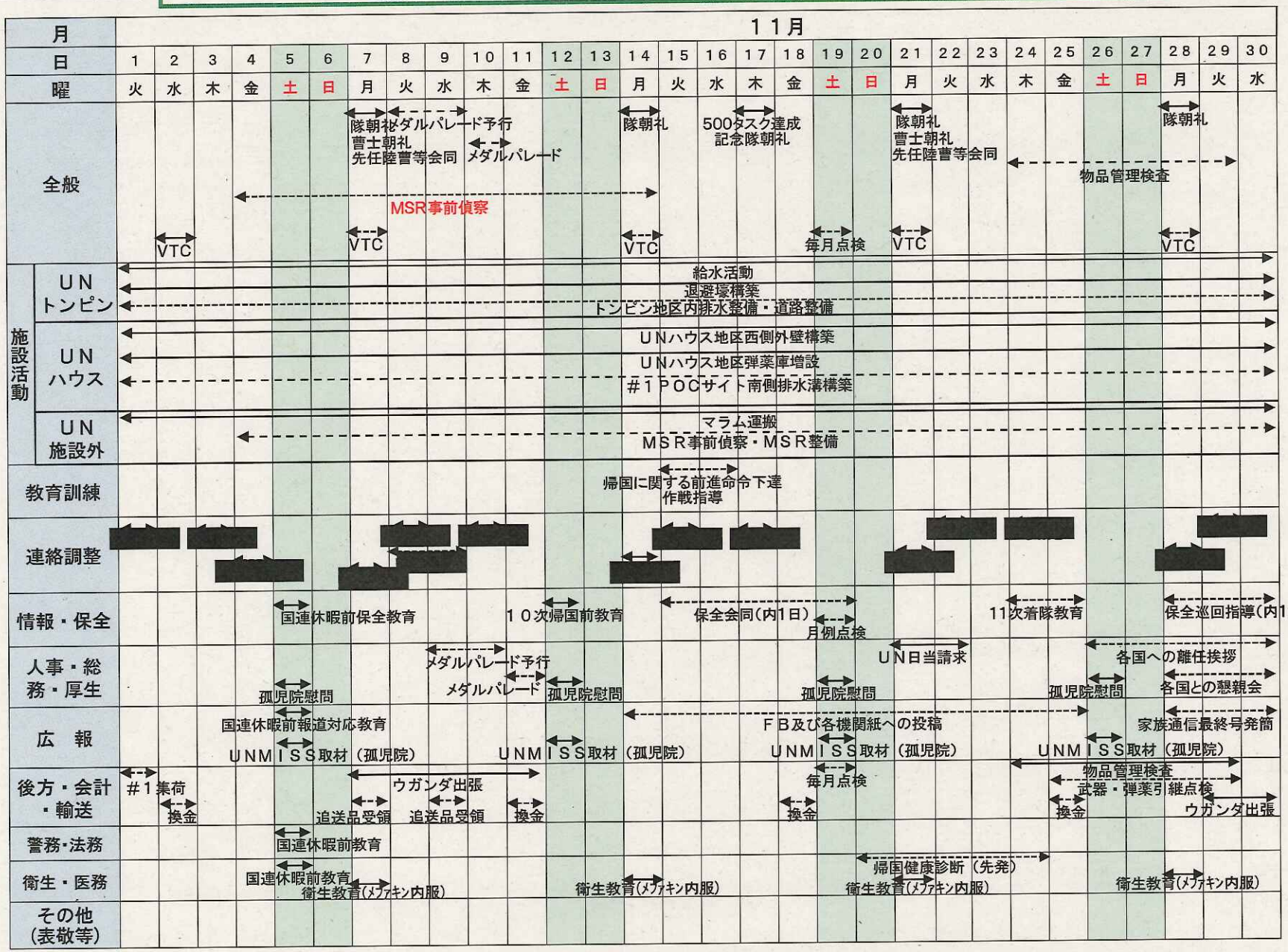
１０月　月間業務予定

別紙第１１－１



赤字：変化事項

１１月　月間業務予定



青字：隊長活動
赤字：変化事項

週間活動予定（１０／２３～１０／２９）第４６週

別紙第１１－２

日	１０／２３	１０／２４	１０／２５	１０／２６	１０／２７	１０／２８	１０／２９
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

青字：隊長活動
赤字：変化事項

週間活動予定（１０／３０～１１／５）第４７週

別紙第１１－３

日	１０／３０	１０／３１	１１／１	１１／２	１１／３	１１／４	１１／５
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

4　情報共有事項

別紙第１２「連携案件等情報」

連携案件等情報

別紙第１２

1　形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現　状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA－PKO連携案件	職業訓練 「＃４さくらＰＪ」	ＭＴＣ	実施困難	ＭＴＣ ＪＩＣＡ	・10/1　ＪＩＣＡ南スーダン事務所長交代 （ウガンダ事務所長兼任） ・１０月中に東京ＪＩＣＡ南スーダン事務所のウガンダ移転完了予定も年内の南スーダンへの復帰見込みなし ・現在のＵＮＭＩＳＳの活動の焦点・他業務予定を考慮すると実施困難	
		フリーダムブリッジにおける作業支援	ＪＩＣＡ 大日本土木	ＣＲＦにおいて実施の可否を検討中	ＣＲＦ ＪＩＣＡ	ＣＲＦにおいて外務省及びＪＩＣＡによるプロジェクト継続等に関する再検討の結果待ち	
2	国際機関等連携案件	ＵＮＯＰＳ水質調査支援 （日本補正予算によるボル河川港建設ＰＪに伴う水質調査の依頼）	ＵＮＯＰＳ （大使館）	工兵課からタスク発出済み	ＵＮＯＰＳ （※） （大使館）	当初予定されていたボル河川港建設準備のための事前水質調査については別機関により実施済み。ただし、建設中・後で引き続き水質調査が必要になることが見込まれるため、支援依頼については引き続き継続	
3		ＵＮハビタット （日本政府予算によるワウ・ジュバにおける居住環境整備事業）	ＵＮ ハビタット （大使館）	大使館から連携の可能性検討再開の打診あり	ＵＮ ハビタット （大使館）	・7/25に隊への事業内容に関する説明、隊から先方への治安上実施困難である旨、連携には工兵課の承認を得るための先方からのリクエストが必要である旨通報済み ・ＵＮﾊﾋﾞﾀｯﾄは、７月衝突事案以降中断していた施設隊との連携に向けた調整を再開したいとの意志あり ・ＵＮﾊﾋﾞﾀｯﾄ側から、施設隊との連携実現のためのＵＮＭＩＳＳﾊｲﾚﾍﾞﾙ（ＤＳＲＳＧ）への打ち込みを実施予定 ・10/21に、担当者から大使館・隊担当への説明予定	

※　UN Office for Project Services：国連プロジェクト・サービス機関）

凡　例　　◎：　タスク化成立　　○：　自隊による実施　　×：　実行の可能性低　　―：　調整中

2　終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概　要	実施時期
	ODA－PKO連携案件	なし			
	国際機関等連携案件	なし			

5　参考資料

気　象（２８～２９日）ジュバ／Weather JUBA

最高気温（1400まで反映）

気温(直射)	気温(日陰)	湿　度	総雨量
４８℃	３８℃	３２%	0mm







日(曜) Date		２８日（金）		２９日（土）					
時　Hrs		18～21	21～24	0～3	3～6	6～9	9～12	12～15	15～18
主要な活動						[redacted]ウガンダ出張			
						文化の日イベント・孤児院慰問			
		国連休暇（９Ｇｐ）							
Juba	天　気								
	気温(℃)	３０	２５	２４	２２	２９	３６	３５	３２
	体感気温(℃)	３３	２６	２５	２５	３１	３８	３６	３３
	降水確率	９０%	２０%	０%	６０%	２０%	０%	０%	０%
	雨　量	１mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm
	風　向	北東	東北東	北東	東北東	南東	東南東	東	東
	風　速	２	２	１	１	２	２	２	１
評価 Assesment	施設活動								
	行　事								

凡例　影響度：　問題なし　＜　一部制限　＜　実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

気　象（週間）ジュバ／Weekly Weather JUBA

日(曜)		３０日（日）	３１日（月）	11月1日（火）	２日（水）	３日（木）
主要な活動		ウガンダ出張	総理大臣補佐官来隊 ORA点検			市内研修
			UNの基盤整備			
		国連休暇（9Gp）				国連休暇（10Gp）
Juba	天　気					
	気温(℃)	３９／２３	３９／２４	３８／２４	３９／２４	３９／２４
	降水確率	７０%	６０%	５０%	０%	０%
	雨　量	０mm	３mm	０mm	０mm	０mm
	評　価					
Kampala	天　気					
	気温(℃)	３２／１７	３１／１５	３３／１７	３３／１６	３１／１６
	降水確率	９０%	８０%	９０%	９０%	９０%
	雨　量	１２mm	１mm	１mm	３mm	６mm

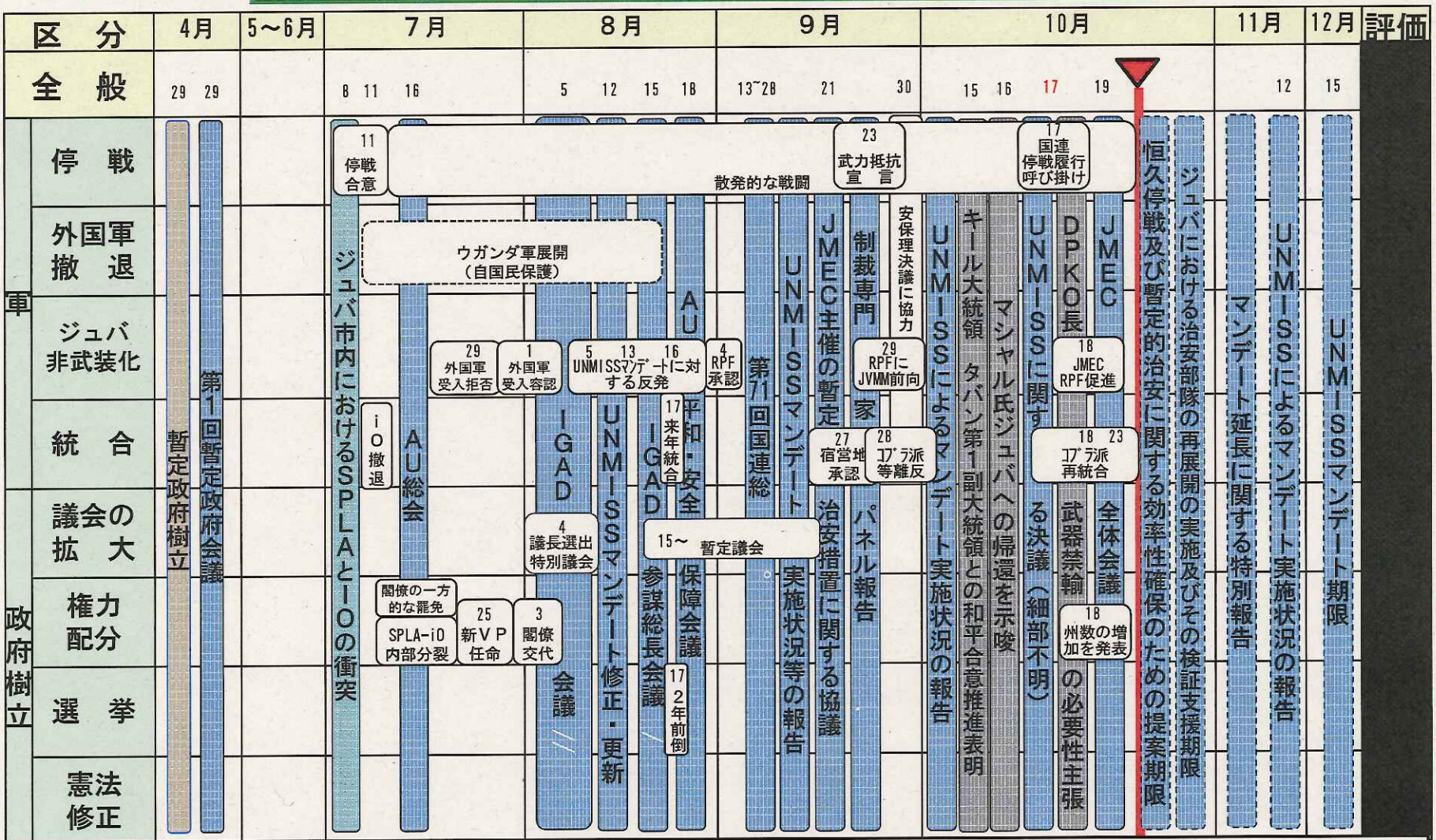
凡例　影響度：問題なし ＜ 一部制限 ＜ 実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

評　価 Assessment	1　ジュバは週、１日までは不安定な天候が続く模様、局所的な降雨に注意が必要 2　ウガンダは週を通じて降水確率が高く、局所的な雨に注意

【凡　例】
赤　字：強　調

政府樹立までの主要結節／Process of Peace Agreement



評　価	和平合意については、キール政権及びタバン第１副大統領への非難を継続するマシャル氏とタバン第１副大統領との和平合意を推し進めたいキール大統領との間での対立が継続しており、タバン派ＳＰＬＡ－ｉＯのための野営地の承認を除き、進展は低調な状況 ＪＭＥＣ主催の全体会議が実施されたものの、地域保護部隊に関する協議も遅延していることから、国際社会は武器禁輸の必要性を改めて主張しており、今後の南スーダン政府の対応に注視が必要

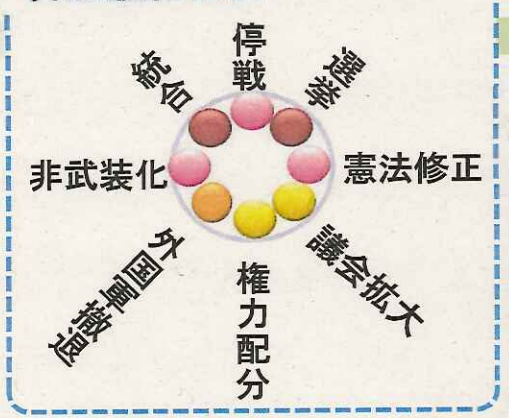
予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects

2015.8 ▼2016.7 2018→

安定 ↕ 不安定

和平合意

合意履行状況



暫定政府 → ジュバ衝突事案 → 政府樹立

不安定要素

[redacted]

我に及ぼす影響

関係悪化モデル

- ジュバでの衝突激化に伴うＵＮ活動の停止
- 武力衝突・[redacted]に伴う、活動の制限
- [redacted]による負傷者発生
- ジュバ市内での大量のＩＤＰの発生
- チェックポイント警戒強化(我の移動制限)
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴うＵＮマンデートの変更
- 少数派による新体制批判デモ
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- ＳＰＬＡと地元住民との係争
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

セクターサウス内部状況（２０１６年１０月２７日現在）



エチオピア
歩兵大隊Ⅰ
([redacted]本部ジュバ)

ネパール
歩兵大隊Ⅱ
[redacted]本部ジュバ)

中国
歩兵大隊 [redacted]
(本部:ジュバ)

ルワンダ
歩兵大隊Ⅰ
[redacted]:本部ジュバ)

航空部隊 [redacted]
(本部ジュバ)

日本
施設部隊
(約350名:本部ジュバ)

バングラデシュ
施設部隊 [redacted](本部:ジュバ)
河川部隊 [redacted](本部:ジュバ)

カンボジア
憲兵隊:(本部:ジュバ)
医療部隊:(本部:ジュバ)

インド
歩兵大隊Ⅱ
[redacted]

エチオピア
歩兵大隊Ⅱ

[redacted]=増派部隊
[redacted]=後方支援部隊

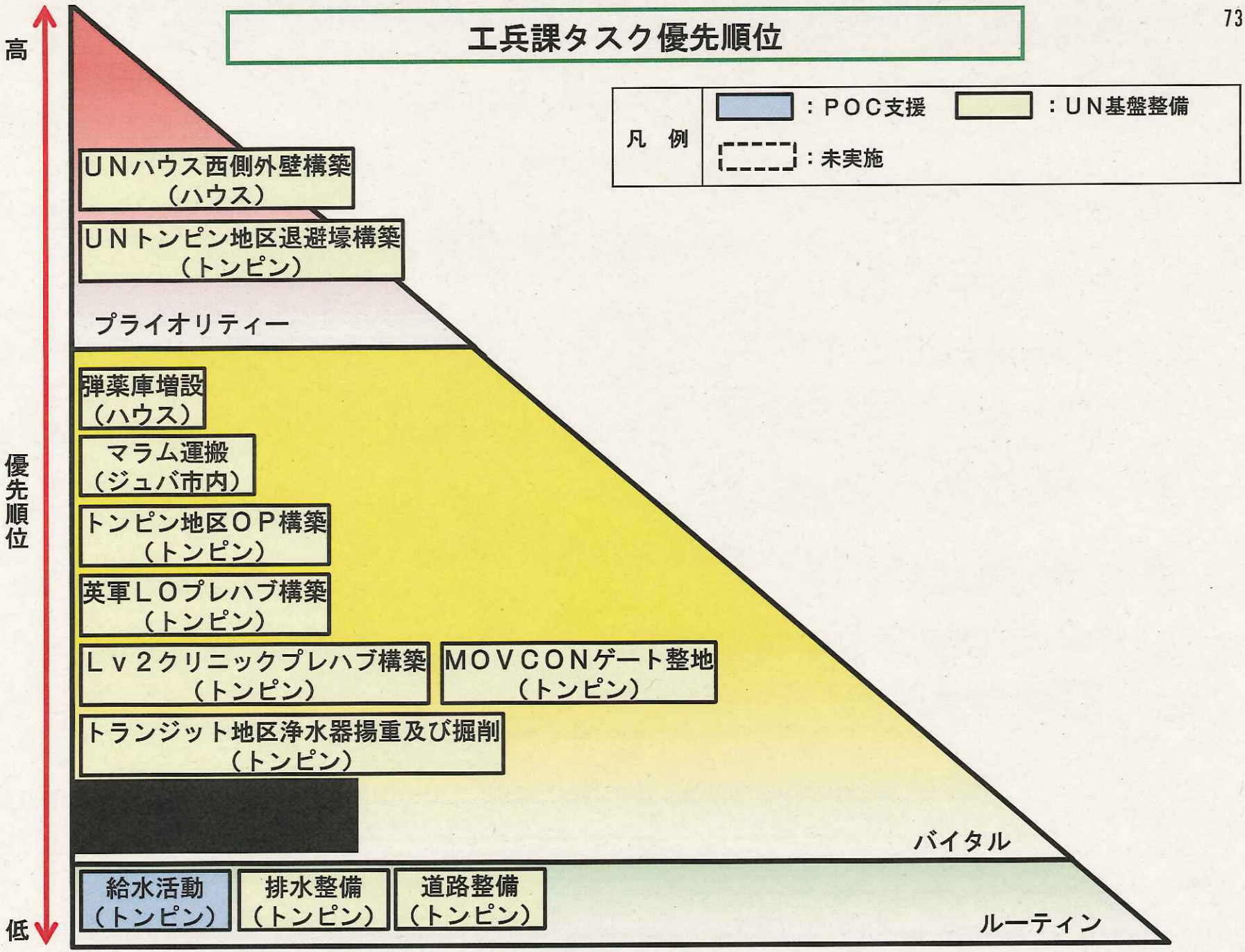
人員現況（第１０次要員）

28．10．28
１８００ｃ

場　所	部　隊		総　員	内　訳			現在員	事故	理由
				幹部(O)	准曹(WS)	陸士(P)			
ジュバ	隊本部								国連休暇６名
	本部付隊	付隊本部							国連休暇１名
		隊本部班							国連休暇２名
		整備班							国連休暇２名
		補給班							国連休暇５名
		通信班							
		衛生班							国連休暇１名
		営繕班							
	施設器材小隊								国連休暇３名
	第１施設小隊								国連休暇３名
	第２施設小隊								国連休暇３名
	第３施設小隊								国連休暇２名
	警備小隊								国連休暇４名
	情報班								
	警護班								
	派遣警務班								国連休暇１名
合　計			353	65	252	36	318	35	

凡例　　青字：不在者

工兵課タスク優先順位


凡　例
：POC支援
：UN基盤整備
：未実施
高
優先順位
低
UNハウス西側外壁構築（ハウス）
UNトンピン地区退避壕構築（トンピン）
プライオリティー
弾薬庫増設（ハウス）
マラム運搬（ジュバ市内）
トンピン地区ＯＰ構築（トンピン）
英軍ＬＯプレハブ構築（トンピン）
Ｌｖ２クリニックプレハブ構築（トンピン）
ＭＯＶＣＯＮゲート整地（トンピン）
トランジット地区浄水器揚重及び掘削（トンピン）
バイタル
給水活動（トンピン）
排水整備（トンピン）
道路整備（トンピン）
ルーティン

１０月２８日タスク等現況（１／２）

凡　例　：ＰＯＣ支援　：インフラ整備　：ＵＮ基盤整備　：国際機関等連携案件

１　実施中

タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
487	ＵＮ基盤整備	1	ＵＮハウス西側外壁構築	ＵＮハウス	ミフラム構築	実施計画				
500	ＵＮ基盤整備	2	マラム運搬	ジュバ市内	マラム運搬	本日累計				
492	ＵＮ基盤整備	3	ＵＮトンピン地区退避壕構築	ＵＮトンピン	退避壕構築	実施計画				
469	ＵＮ基盤整備	4	弾薬庫増設	ＵＮハウス	ヘスコ増設外柵構築	実施計画				
476	ＵＮ基盤整備	5	トンピン地区ＯＰ構築	ＵＮトンピン	ヘスコ構築屋根構築	実施計画				工兵課の指示待ち
503	ＵＮ基盤整備	6	英軍ＬＯプレハブ構築	ＵＮトンピン	プレハブ構築	実施計画 実施計画				
508	ＵＮ基盤整備	7	Ｌｖ２クリニックプレハブ構築	ＵＮトンピン	プレハブ構築	実施計画				
507	ＵＮ基盤整備	8	ＭＯＶＣＯＮゲート整地	ＵＮトンピン	整　地	実施計画				
505	ＵＮ基盤整備	9	トランジット地区浄水器揚重及び掘削	ＵＮトンピン	揚重及び掘削	実施計画				工兵課の指示待ち
509	ＵＮ基盤整備	１０	ネパール歩兵大隊敷地整地	ＵＮハウス	整　地	実施計画				
325	ＰＯＣ支援	１１	給水活動	ＵＮトンピン	給　水					
471	ＵＮ基盤整備	１２	排水整備	ＵＮトンピン	排　水					
459	ＵＮ基盤整備	１３	道路整備	ＵＮトンピン	道路整備					

１０月２８日タスク等現況（２／２）

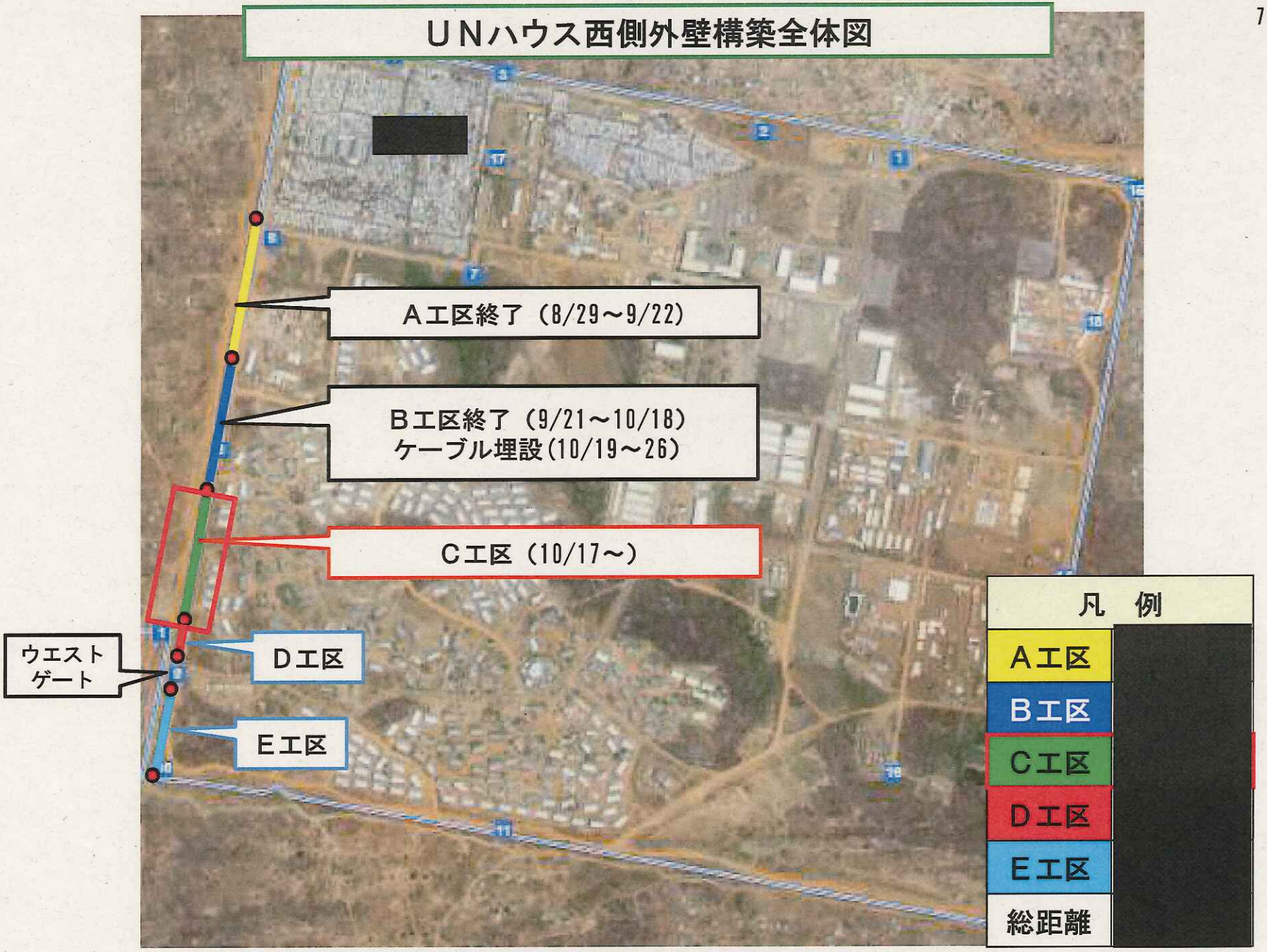
凡　例	：UN基盤整備

２　未実施

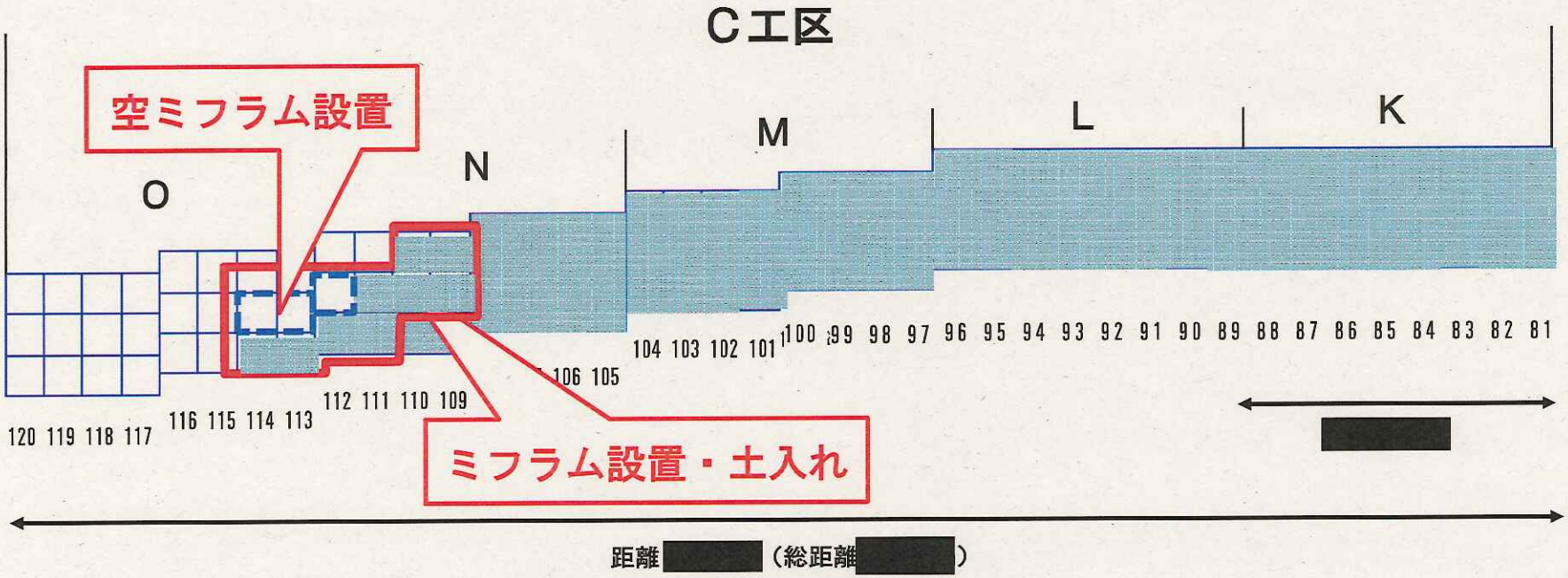
タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
456	UN基盤整備		[redacted]	UNトンピン	[redacted]		[redacted]			

タスク累計受領数（完了数）	タスク実施数（第１０次要員）		
５０９ （４９３）	プライオリティー	１４	
	バイタル	６９	
	ルーティン	３	
	計	８６	
		完　了	７３
		実施中	１２
		未実施	１

ＵＮハウス西側外壁構築全体図



UNハウス西側外壁構築（１０月２８日現在）



凡例

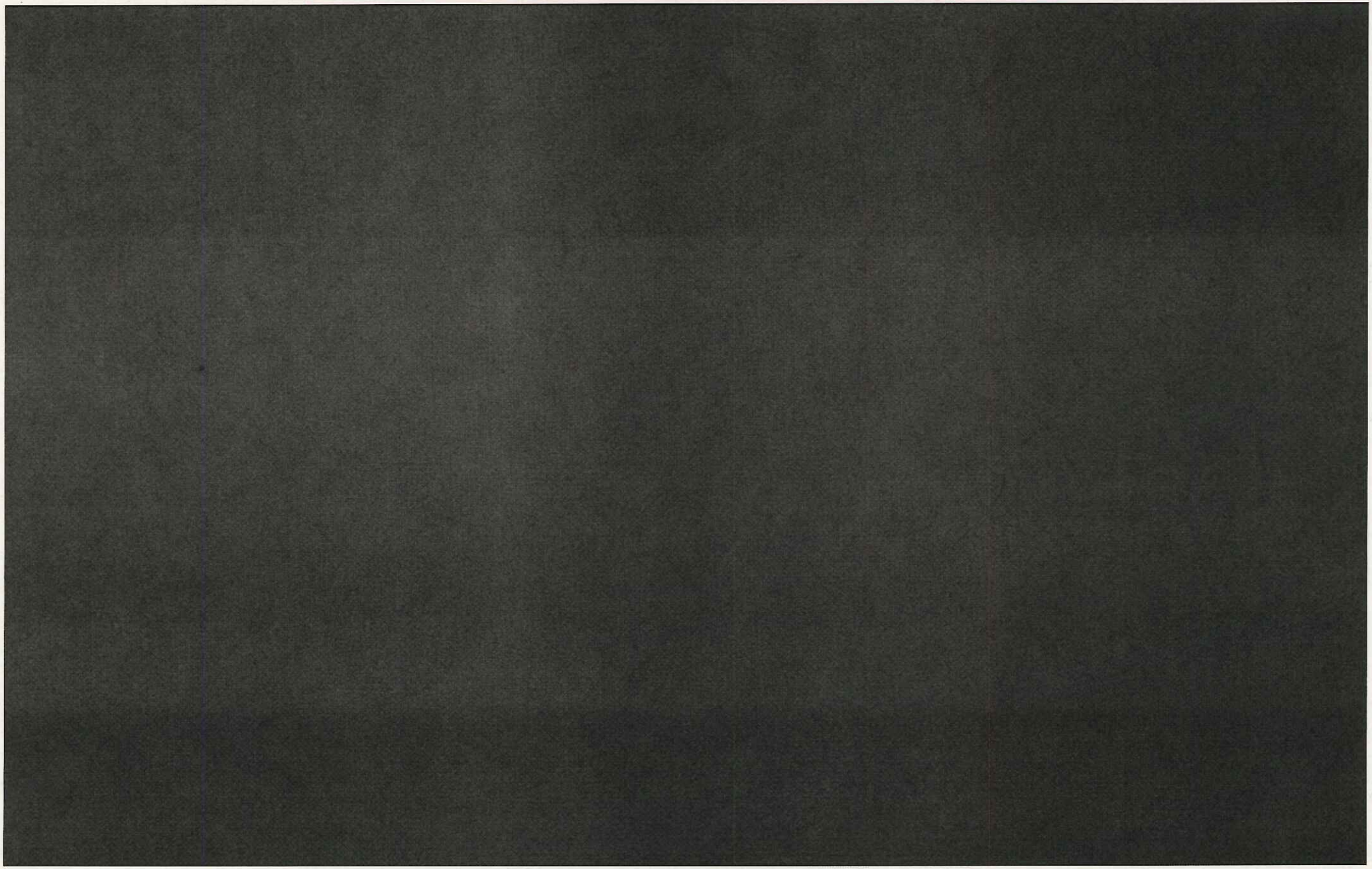
- ミフラム設置
- 空ミフラム設置箇所
- 本日作業箇所

成果

ミフラム設置 [redacted]

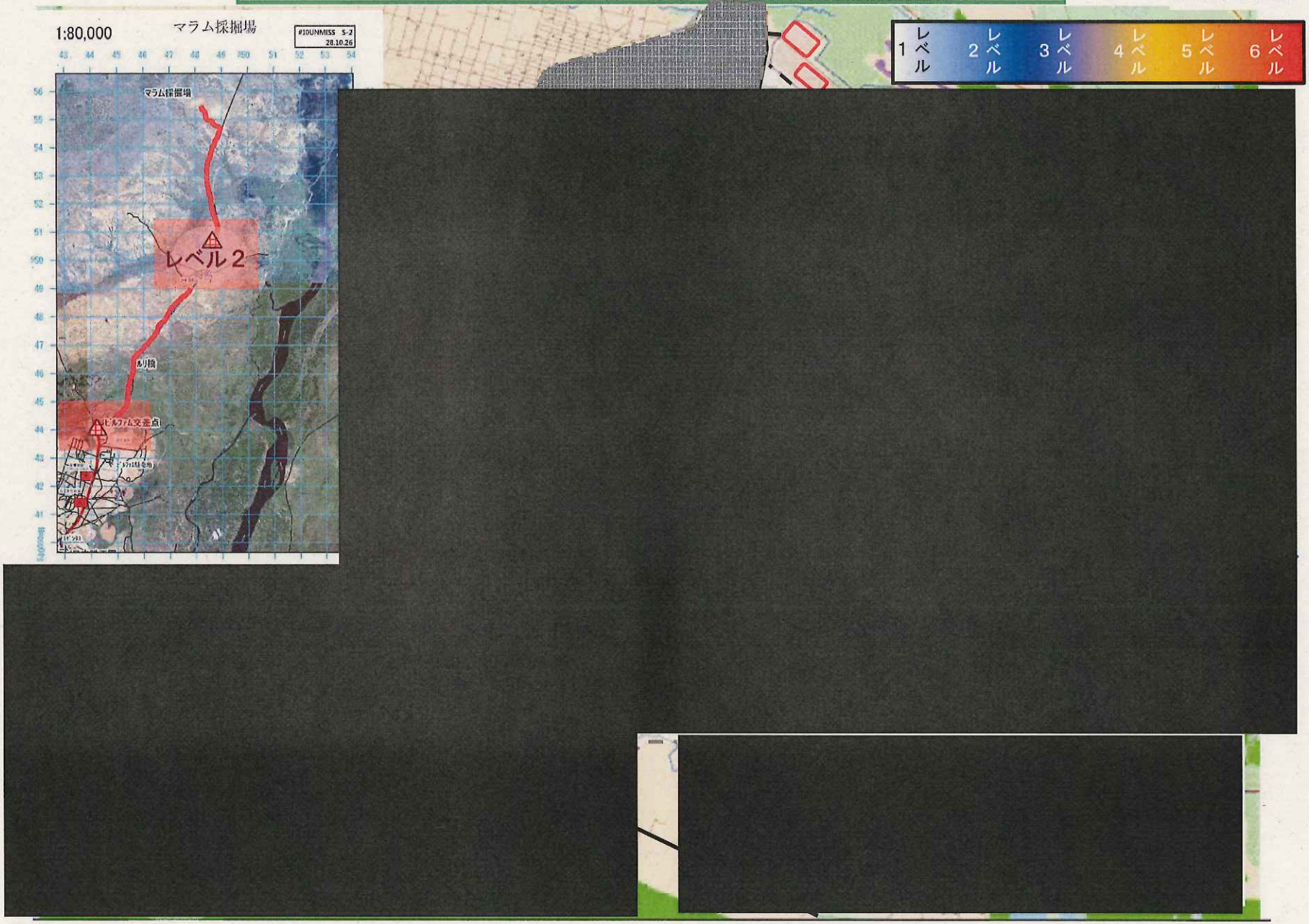
※　赤字：作業完了により変更部分

ＵＮハウス弾薬庫増設（１０月２８日現在）



2016.10.28

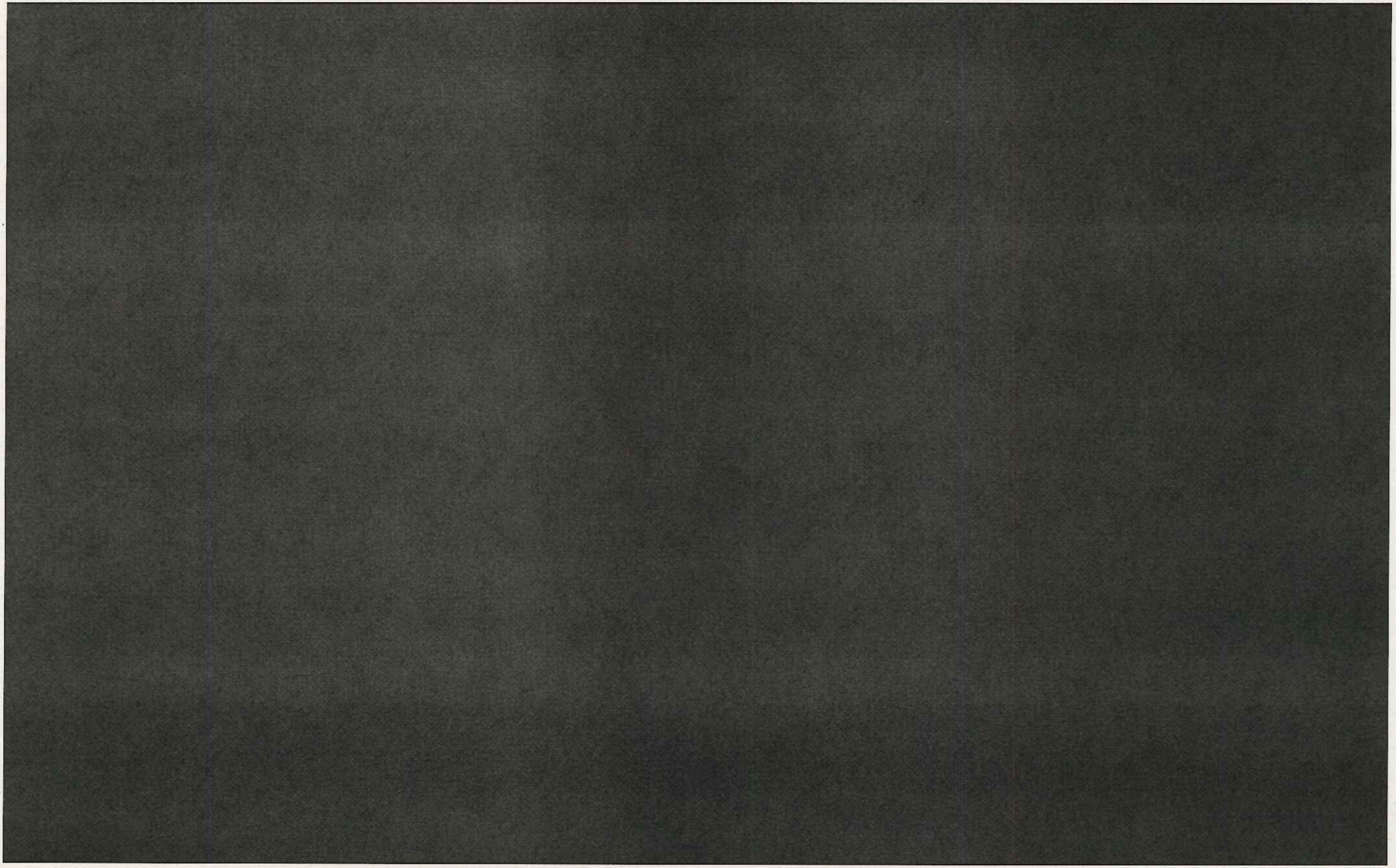
地域脅威レベル評価（１０月２９日）



隊員服装・装備等基準

区　分	警備小隊	経路偵察に任ずる部隊	活動部隊 （警備、経路偵察除く。）
[redacted]			
備考			

警備の態勢（[redacted]）（１０月２８日１７００現在）



活動写真


UNタスク（UNトンピン）
UN
LV2クリニックプレハブ構築
（第１施設小隊）


UNタスク（UNハウス）
UN
UNハウス地区西側外壁構築
（第２施設小隊）


UNタスク（UNハウス）
UN
UNハウス地区弾薬庫増設
（第３施設小隊）


UNタスク（ジュバ市内）
教育センター長とのVTC
（教訓幹部）